平成２１年版（２００９年）

統　計　や　す　ぎ

島根県安来市

編集・発行：安来市役所総務部総務課

■はじめに

本書は、安来市の人口、産業、経済、教育、文化など各分野の基礎的な統計資料を収録又は編集し、市勢の現状と発展の推移を明らかにしようとするものです。

内容につきましては、整備充実に努めましたが、不備不完全な点があると思われますので、各方面からのご意見ご指導を賜れば幸いに存じます。

発刊にあたり、貴重な資料をご提供くださいましたみなさまにお礼申し上げますとともに、今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 22 年 3 月　　安来市役所総務部総務課

■目次

◇市の紹介 ・・・・・・・・・ 1
◇市勢 ・・・・・・・・・ 2
◇土地・自然 ・・・・・・・・・ 4
◇人口 ・・・・・・・・・ 6
◇人口移動 ・・・・・・・・・ 7
◇地区別人口 ・・・・・・・・・ 8
◇福祉 ・・・・・・・・・ 9
◇教育・文化 ・・・・・・・・・11
◇住宅・公園 ・・・・・・・・・13
◇交通・観光 ・・・・・・・・・16
◇ごみ ・・・・・・・・・18
◇上下水道 ・・・・・・・・・19
◇消防 ・・・・・・・・・20
◇警察 ・・・・・・・・・21
◇産業 ・・・・・・・・・22
◇財政・市税 ・・・・・・・・・24
◇選挙 ・・・・・・・・・27
◇防災 ・・・・・・・・・28
◇自治会・町内会 ・・・・・・・・・32
◇その他 ・・・・・・・・・33
統計調査
庁舎案内

■ご利用にあたって

◇構成比、総数の合計は端数を四捨五入してあるため、必ずしも内訳計と一致しない場合があります。

◇統計表中の符号の用法は次のとおりです。
「－」・・・該当なし　「０」・・・単位未満　「△」・・・マイナス（－）※温度は除く
「×」・・・秘密保持上統計数値を公表しないもの

◇一般的でない用語を使用する場合やデータから読み取れる傾向等がはっきりしている場合は、脚注、解説を設けるようにしました。

市の紹介

元気･いきいき･快適都市
～水と緑と文化が調和する健康･交流のまち～

■元気・いきいき・快適都市

安来市は、中海圏域のほぼ中央に位置し、山・川・平野・海のすべてを持つ、自然環境に恵まれた地域です。数多くの神話や伝説の舞台として歴史的・文化的にも高い価値を持っているほか、古くから製鉄を営む地域としても全国的に知られています。

豊かな自然と文化をいしずえとして、笑顔と健康がはじけるように輝くまちを目指します。

■歴史

今からおよそ 1300 年前、当地域は出雲国の東部「意宇（おう）郡」に属していましたが、その後平安時代に「出雲国能義郡」として一つの行政区となりました。

戦国時代には広瀬の月山富田城を治める尼子氏が、陰陽 11 州（現中国地方全域）に勢力を及ぼすまでに台頭し、当地域は山陰の中心地として栄えました。また、江戸時代になると松江藩の支藩として広瀬･母里藩が置かれ、安来は山陰道の港町として和鉄や蔵米の集散地として発展しました。

廃藩置県により、明治 4 年 7 月に島根県として統合され、明治 22 年の市町村制の施行に伴い当地域は 16 町村となりました。戦後各町村が合併し、「安来市」・「広瀬町」・「伯太町」の 1 市 2 町となりました。

歴史・文化・生活などにおいて一体性を有し、広域行政組合などを通じて協力して地域づくりを行ってきた 1 市 2 町は、平成 16 年 10 月 1 日合併により新生「安来市」として新たなまちづくりを行うこととなりました。

■市のシンボル

市の花：さくら	市の木：竹	市の鳥：白鳥	市の魚：どじょう

■市章

「安」の文字をモチーフとして、人と自然がいきいきと共存共栄し、舞い踊るイメージをデザイン化しています。グリーンは自然・発展・調和、オレンジは陽光・人・活気、ブルーは清らかな水・青空を表現しています。

■市のキャラクター

安来節どじょうすくいキャラクターが、広く市民に愛され、コミュニケーションを活性化させると共に、市のイメージを内外に伝えることを目的とし作成されました。

市勢

新しい時代に対応した多彩なコミュニティの形成と
産業振興・地域活力の創造

■位置・地勢

安来市は島根県の東部、鳥取県との県境に位置し、東は米子市・南部町、南は日南町（以上鳥取県）、奥出雲町、西は東出雲町・松江市・雲南市に接しています。市域は東西およそ 22㎞、南北およそ 28㎞ で、面積は 420.97ｋ㎡です。南部は中国山地に連なる豊かな緑に覆われ、そこを源流として中海に注ぐ飯梨川・伯太川全流域が市域に含まれます。下流域に形成された三角州平野には広大な耕地が広がり、上流域には豊かな森林と県東部の水瓶としての機能も果たす布部・山佐ダムがあります。

■気候

気象は、平均気温が約 16℃前後、降水量は年間約 1,500 ㎜です。また、山沿いは平野部に比べ年間平均気温が低く、冬季の降雪量が多くなっています。

■交通

道路は、国道 9 号バイパス（自動車専用道路）である安来道路が東西に走り、山陰自動車道の一部として機能しています。その他、南北に走る国道 432 号、主要地方道（安来木次線、伯太日南線）など幹線道路網でネットワークされています。

空路は、安来市から直線距離で西へ約 30 ㎞の地点に出雲空港、北におよそ 20 ㎞の地点に米子空港があり、東京や大阪などへも良好なアクセスが確保されています。

鉄道は、ＪＲ山陰本線が東西に走り、安来駅・荒島駅を有しています。安来駅から県庁所在地である松江市までは特急で約 13 分、隣接の米子市（鳥取県）までは約 7 分の連絡となっています。

■福祉・医療

安来市は、地域医療の中核となる市立病院をはじめ、子ども未来課・いきいき健康課・高齢者安心課を設置し、安心して子どもを生み育てることのできる地域社会、また高齢者や障がい者をはじめ、誰もが活き活きと暮らせる社会の実現に向け、総合的な福祉施策を積極的に推進しております。

■教育・文化

安来市では、市内すべての小中学校で「安来市の豊かな自然、歴史、文化を学校教育に取り入れ、地域に育ち、郷土への誇りと地域コミュニティの担い手として市民意識をもった子どもを育てる」ことをねらいとした「ふるさと教育」を推進しています。

■観光

全国的に有名な「民謡安来節」の発祥の地です。また、約 1400 年前に開かれた清水寺、1 万坪の日本庭園を持ち近代日本画の名品を多数展示している足立美術館、たたら製鉄などの鉄文化を伝える和鋼博物館など、文化の香り高いすぐれた観光資源を有しています。

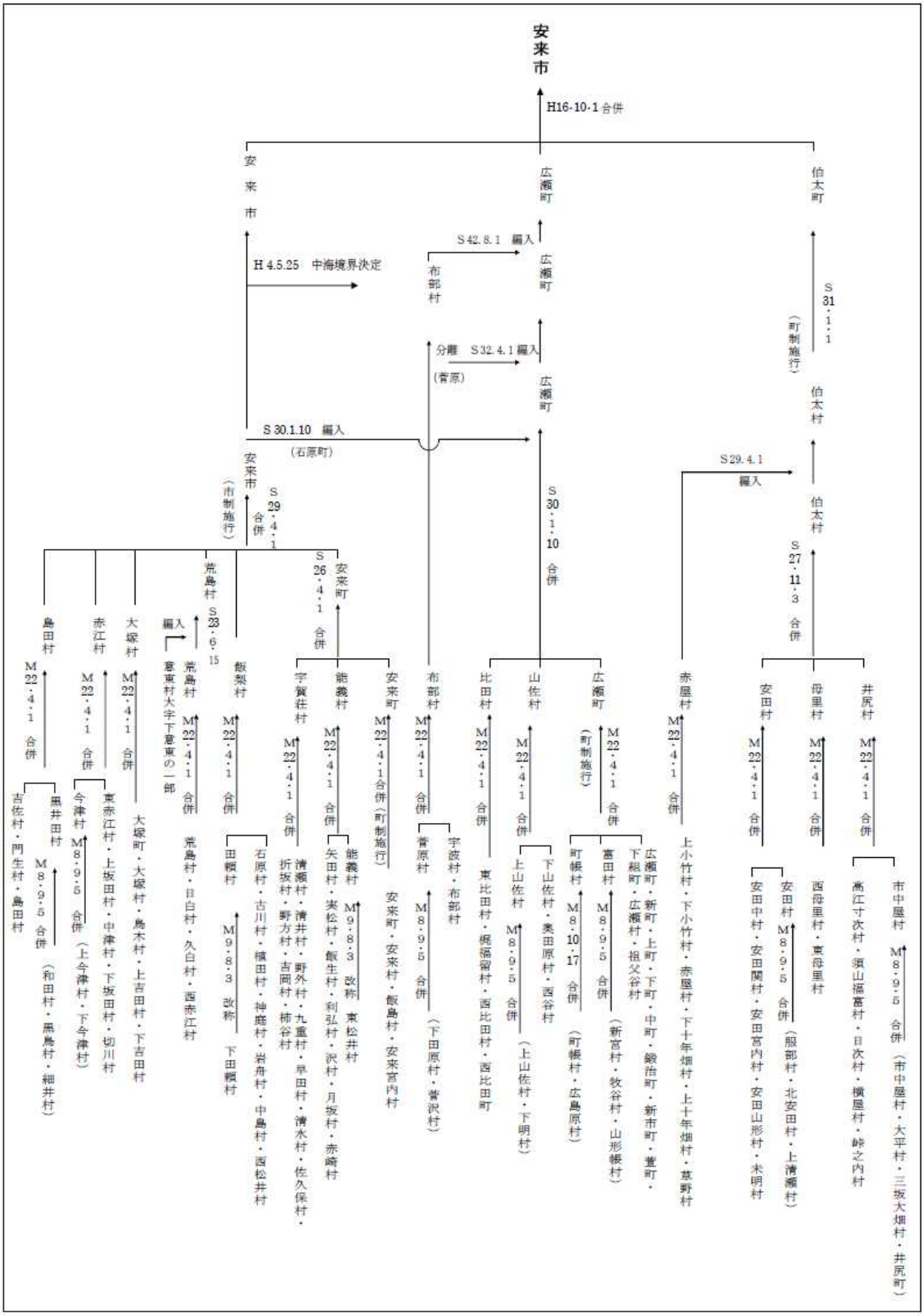
■環境

安来市は、ごみの減量化・再資源化を目的に 16 分別を実施し、Reduce(リデュース：むだを減らす)、Reuse(リユーズ：再利用)、Recycle（リサイクル：再資源化する）の 3R によって、資源循環型社会の構築を目指した取り組みを積極的に推進しています。

■産業・経済

豊かな自然を活用した農業は、米を柱に野菜や果物（梨・ぶどう・いちご・メロンなど）を生産し、県内農業の中心的役割を果しています。また、古くから鉄の集積地として歴史がある安来市は、鉄鋼産業に取り組む企業が集積しています。中でも、高級特殊鋼「ヤスキハガネ」は、航空機から精密機器などの素材として高い評価を得ており、世界で最先端の技術力を誇ります。

■安来市の変遷


安来市
H16・10・1 合併
安来市
広瀬町
伯太町
H 4.5.25 中海境界決定
S 42. 8. 1 編入
布部村
広瀬町
S 31・1・1
(町制施行)
伯太村
分離 S 32. 4. 1 編入
(菅原)
広瀬町
S 30.1.10 編入
(石原町)
S 29. 4. 1
編入
安来市
(市制施行)
S 29・4・1 合併
S 30・1・10 合併
S 27・11・3 合併
荒島村
S 23・6・15
編入
安来町
S 26・4・1 合併
飯梨村
宇賀荘村
能義村
安来町
布部村
比田村
山佐村
広瀬町
赤屋村
安田村
母里村
井尻村
島田村
赤江村
大塚村
荒島村
意東村大字下意東の一部
M22・4・1 合併
吉佐村・門生村・島田村
黒井田村
今津村
東赤江村・上坂田村・中津村・下坂田村・切川村
大塚町・大塚村・島木村・上吉田村・下吉田村
荒島村・日白村・久白村・西赤江村
田頼村
石原村・古川村・横田村・神庭村・岩舟村・中島村・西松井村
清瀬村・清井村・野外村・九重村・早田村・清水村・佐久保村・折坂村・野方村・吉岡村・柿谷村
矢田村・実松村・飯生村・利弘村・沢村・月坂村・赤崎村
能義村
M9・8・3 改称 東松井村
安来町・安来村・飯島村・安来宮内村
菅原村
宇波村・布部村
M8・9・5 合併
(下田原村・菅沢村)
東比田村・梶福留村・西比田村・西比田町
上山佐村
下山佐村・奥田原村・西谷村
(上山佐村・下明村)
町帳村
富田村
広瀬町・新町・上町・下町・中町・鍛冶町・新市町・萱町・下組町・広瀬村・祖父谷村
(町制施行)
M8・10・17 合併
(町帳村・広島原村)
(新宮村・牧谷村・山形帳村)
上小竹村・下小竹村・赤屋村・下十年畑村・上十年畑村・草野村
安田中村・安田関村・安田宮内村・安田山形村・未明村
安田村
西母里村・東母里村
(服部村・北安田村・上清瀬村)
高江寸次村・須山福富村・日次村・横屋村・峠之内村
市中屋村
(市中屋村・大平村・三坂大畑村・井尻町)
(和田村・黒鳥村・細井村)
(上今津村・下今津村)

土地・自然

安来市は、山林が最も多く、次に田・畑と続き、推移からも地目割合に大きな変化は見られない。

■地目別面積（民有地）の推移

（単位：ha，%）

区分	平成 18 年（2006 年）		平成 19 年（2007 年）		平成 20 年（2008 年）		平成 21 年（2009 年）	
	面積	地目割合	面積	地目割合	面積	地目割合	面積	地目割合
総数	19,110	100.0	19,012	100.0	18,995	100.0	18,868	100.0
田	4,232	22.1	4,217	22.2	4,206	22.1	4,176	22.1
畑	968	5.1	966	5.1	965	5.1	963	5.1
宅地	833	4.4	837	4.4	840	4.4	847	4.5
池沼	38	0.2	38	0.2	38	0.2	38	0.2
山林	12,300	64.4	12,252	64.4	12,240	64.4	12,133	64.3
原野	516	2.7	521	2.7	525	2.8	527	2.8
雑種地	203	1.1	181	1.0	181	1.0	184	1.0

資料：税務課　各年 1 月 1 日現在
注）面積は課税面積

■都市計画の地域区分面積

（平成 21 年/単位：ha，%）

区分		面積	構成比
総面積（行政区域面積）		42,097	100.0
都市計画区域	総数	8,781	20.9
	市街化区域	659	1.6
	市街化調整区域	6,702	15.9
	用途の定めの無い区域	1,420	3.4
その他		33,316	79.1

資料：都市政策課　平成 21 年 3 月 31 日現在
注）その他の区域の面積は、都市計画区域外 31,160ha及び中海の行政水面 2,157haを含む総面積は国土地理院の数値で、四捨五入の関係で合わない。

◇市街化区域の内訳

（平成 21 年/単位：ha，%）

地域名		面積	構成比
合計		659	100.0
住居系	第一種低層住居専用地域	42	6.4
	第二種低層住居専用地域	0	0.0
	第一種中高層住居専用地域	84	12.7
	第二種中高層住居専用地域	0	0.0
	第一種住居地域	205	31.1
	第二種住居地域	35	5.3
	準住居地域	7	1.1
商業系	近隣商業地域	19	2.9
	商業地域	24	3.6
工業系	準工業地域	99	15.0
	工業地域	10	1.5
	工業専用地域	134	20.3

資料：都市政策課　平成 21 年 3 月 31 日現在

■一級河川

（単位：km）

名称	上流端	下流端	河川延長
伯太川	伯太町草野	中海	25.0
飯梨川	広瀬町比田	中海	35.9
山佐川	広瀬町奥田原	飯梨川	15.5
吉田川	上吉田町	中海	12.5

資料：島根県統計書

■湖

（単位：km，k㎡，m）

名称	湖岸線延長	満水面積	水深	
			最深	平均
中海	104.6	86.79	8.4	5.4

資料：島根県統計書
注）所在地は、松江市・安来市・八束郡・米子市・境港市

■ダム

（単位：m，千㎥）

名称	目的	提高	有効貯水容量
布部ダム	洪水調整・上水道・工業用水・発電	55.9	5,000
山佐ダム	洪水調整・上水道	56.0	4,450

資料：島根県統計書

■農地転用状況

（単位：件，a）

区分		平成19年度					平成20年度				
		総数	安来		広瀬	伯太	総数	安来		広瀬	伯太
			市街化区域	市街化調整区域				市街化区域	市街化調整区域		
総数	件数	51	17	24	7	3	40	14	16	4	6
	面積	485.0	123.0	274.0	66.0	22.0	217.8	101.9	51.1	22.2	42.6
住宅用地	件数	19	11	7	1	0	21	12	5	0	4
	面積	114.0	92.0	20.0	2.0	0.0	105.8	72.2	10.1	0.0	23.5
商工業用地	件数	4	1	3	0	0	4	1	3	0	0
	面積	50.0	15.0	35.0	0.0	0.0	38.4	21.0	17.4	0.0	0.0
その他の用地	件数	28	5	14	6	3	15	1	8	4	2
	面積	321.0	16.0	219.0	64.0	22.0	73.6	8.7	23.6	22.2	19.1

資料：農業委員会

■気象の概要

（単位：℃，mm，%，m/S，日）

区分		平成20年（2008年）	平成21年（2009年）
気温	最高（極）	37.0	37.0
	最低（極）	-0.5	-1.0
	平均	16.48	16.99
降水量		1491.0	1504.0
平均湿度		78.4	78.09
最大風速		24.0	24.0
平均風速		2.3	2.4
天気日数	快晴	11	5
	晴	131	134
	曇	157	149
	雨	59	68
	雪	7	9

資料：消防警防課　各年1月～12月迄

■主要山岳

（単位：m）

名称	標高	名称	標高
猿隠山	816.9	メイゲ平山	229.1
三郡山	806.0	三笠山	218.1
鷹入山	706.1	車山	207.8
天狗山	610.4	月山	183.8
日向山	526.3	岳山	181.6
京羅木山	473.0	佐幸寺山	178.0
大辻山	365.0	兄弟山	176.7
羽根ヶ谷山	360.9	清水山	107.4
独松山	320.6	十神山	92.9
要害山	281.2	城山	87.8
鷲頭山	258.5	高塚山	48.7

資料：安来市管内図

◇気象の概要の内訳

（平成21年/単位：℃，mm，%，m/S，日）

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温	最高（極）	13.5	21.0	27.0	27.5	32.5	35.0	37.0	35.0	31.0	29.0	26.0	19.0
	最低（極）	-0.5	1.0	0.5	5.0	11.0	12.5	22.0	18.0	11.0	10.5	3.0	-1.0
	平均	5.3	8.6	10.5	15.4	20.4	24.4	28.5	26.5	23.7	19.2	13.6	7.8
降水量		207.0	91.0	75.0	116.0	28.0	222.0	308.0	56.0	41.0	84.0	208.0	68.0
平均湿度		86.1	77.2	70.8	71.0	74.9	78.4	83.5	83.1	80.8	78.6	80.1	72.8
最大風速		17.0	18.5	23.5	22.5	18.0	14.5	15.0	14.5	13.5	24.0	23.0	19.0
平均風速		2.2	2.6	2.6	2.5	2.9	1.9	1.8	1.9	2.3	2.2	2.7	3.7
天気日数	快晴	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0
	晴	4	10	9	18	12	15	5	12	17	16	9	7
	曇	13	12	17	6	15	9	16	15	9	10	14	13
	雨	9	6	5	5	4	6	10	3	4	4	6	6
	雪	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5

資料：消防警防課　平成21年1月～12月迄
注）快晴：雲量1以下、晴：雲量2以上8以下、曇：雲量1

人口

安来市の人口は、自然動態・社会動態共に、減少傾向にある。

■人口・世帯

（単位：世帯，人，%）

区分		平成 19 年（2007 年）	平成 20 年（2008 年）	平成 21 年（2009 年）
世帯数		13,867	13,931	13,975
人口	総数	44,174	43,743	43,309
	男	21,092	20,854	20,675
	女	23,082	22,889	22,634
年少者	人口数（14 歳以下）	5,791	5,686	5,600
	率	13.10	12.99	12.93
高齢者	人口数（65 歳以上）	12,587	12,662	12,720
	率	28.49	28.94	29.37

資料：市民課　各年 3 月 31 日現在

■年齢・構成

（平成 20 年/単位：人）

区分		男	女
総　数	42,607	20,196	22,411
0～4 歳	1,734	896	838
5～9 歳	1,893	961	932
10～14 歳	2,058	1,026	1,032
15～19 歳	1,940	980	960
20～24 歳	1,534	730	804
25～29 歳	1,994	1,032	962
30～34 歳	2,455	1,264	1,191
35～39 歳	2,395	1,255	1,140
40～44 歳	2,074	1,043	1,031
45～49 歳	2,373	1,213	1,160
50～54 歳	2,652	1,330	1,322
55～59 歳	3,474	1,753	1,721
60～64 歳	3,296	1,646	1,650
65～69 歳	2,757	1,318	1,439
70～74 歳	3,010	1,328	1,682
75～79 歳	2,625	1,109	1,516
80～84 歳	2,137	775	1,362
85～89 歳	1,329	354	975
90～94 歳	663	147	516
95～99 歳	181	35	146
100 歳以上	32	0	32
年齢不詳	1	1	0
0～14 歳	5,685	2,883	2,802
15～64 歳	24,187	12,246	11,941
65 歳以上	12,734	5,066	7,668

資料：島根の人口移動と推計人口　第 17 表市町村年齢階級別人口
平成 20 年 10 月 1 日現在
注）国勢調査では、住民票の有無にかかわらず人口を把握するので、当該査後に住民票を移動させると、人口が「差引不能」となる場合がある。

■人口動態

（平成 20 年/単位：人，%）

区分			島根県	安来市
平成 20 年 10 月 1 日現在推計人口			725,202	42,607
平成 19 年 10 月 1 日現在推計人口			731,652	43,096
自然動態	出生	総数	5,885	309
		男	3,054	160
		女	2,831	149
	死亡	総数	9,058	571
		男	4,664	308
		女	4,394	263
	自然増加数	総数	△3,173	△262
		男	△1,610	△148
		女	△1,563	△114
		率	△0.43	△0.61
社会動態	県外転入	総数	13,303	545
		男	7,054	273
		女	6,249	272
	県内転入	総数	10,011	377
		男	5,253	197
		女	4,758	180
	県外転出	総数	16,580	733
		男	8,521	361
		女	8,059	372
	県内転出	総数	10,011	416
		男	5,253	207
		女	4,758	209
	社会増加数	総数	△3,277	△227
		男	△1,467	△98
		女	△1,810	△129
		率	△0.45	△0.53
人口増減		総数	△6,450	△489
		男	△3,077	△246
		女	△3,373	△243
		率	△0.88	△1.13

資料：島根の人口移動と推計人口　第 3 表市町村別人口動態
平成 20 年 10 月 1 日現在
注）県外転入には、市町村が職権により住民票に「記載」した人の数、県外転出には住民票から「消除」した人の数が含まれている。

自然増加数＝出生児数-死亡者数
自然増加率＝1年間の自然増加数/前年 10 月1日現在人口×100
社会増加数＝転入者数-転出者数
社会増加率＝1年間の社会増加数/前年 10 月1日現在人口×100

人口移動

大都市圏への人口流出と近隣地域への人口移動が顕著に表れている。

■移動理由別移動者数

（平成 20 年/単位：人）

区分			県外転入	県内転入	県外転出	県内転出
移動者総数		2,070	544	377	733	416
原因者	総数	1,588	405	266	602	315
	転勤	227	41	64	66	56
	就職	232	44	21	132	35
	転職転業	110	50	10	35	15
	就学卒業	116	21	7	64	24
	結婚縁組	249	38	42	98	71
	新築転居	201	50	40	63	48
	その他	439	157	81	143	58
	不詳	14	4	1	1	8
同伴者		482	139	111	131	101

資料：島根の人口移動と推計人口　第 7 表市町村移動理由別移動者数
平成 20 年 10 月 1 日現在
注）県外転入には、市町村が職権により住民票に「記載」した人の数、県外転出には住民票から「消除」した人の数が含まれていない。

移動の理由は何？

移動者総数で最も多い理由は
「結婚縁組」

県外転入で最も多い理由は「転職転業と新築転居」
県外転出で最も多い理由は「就職」

県内転入で最も多い理由は「転勤」
県内転出で最も多い理由は「結婚縁組」

■市町村間移動者数（市外転入）

（平成 20 年/単位：人）

市町村名	転入者数	市町村名	転入者数
松江市	186	斐川町	4
浜田市	21	川本町	1
出雲市	39	美郷町	2
益田市	11	邑南町	2
大田市	10	津和野町	2
江津市	15	吉賀町	3
雲南市	14	海士町	2
東出雲町	42	西ノ島町	0
奥出雲町	10	知夫村	0
飯南町	5	隠岐の島町	8
計		377	

資料：島根の人口移動と推計人口　第 10 表市町村間移動者数
平成 20 年 10 月 1 日現在

■市町村間移動者数（市外転出）

（平成 20 年/単位：人）

市町村名	転出者数	市町村名	転出者数
松江市	230	斐川町	6
浜田市	8	川本町	5
出雲市	48	美郷町	1
益田市	12	邑南町	1
大田市	6	津和野町	0
江津市	6	吉賀町	0
雲南市	10	海士町	1
東出雲町	64	西ノ島町	0
奥出雲町	11	知夫村	0
飯南町	0	隠岐の島町	7
計		416	

資料：島根の人口移動と推計人口　第 10 表市町村間移動者数
平成 20 年 10 月 1 日現在

■都道府県間移動者数（県外転入上位 5 県）

（平成 20 年/単位：人）

都道府県名	転入者数
鳥取県	192
大阪府	62
広島県	32
東京都	24
兵庫県	24
国外	54
全転入者数	544

資料：島根の人口移動と推計人口　第 8 表市町村別都道府県間移動者数
平成 20 年 10 月 1 日現在
注）転入には、市町村が職権により住民票に「記載」した人数が含まれていない。

■都道府県間移動者数（県外転出上位 5 県）

（平成 20 年/単位：人）

都道府県名	転出者数
鳥取県	294
大阪府	66
広島県	49
東京都	48
岡山県	44
国外	34
全転出者数	733

資料：島根の人口移動と推計人口　第 9 表市町村別都道府県間移動者数
平成 20 年 10 月 1 日現在
注）転出には、市町村が職権により住民票に「削除」した人数が含まれていない。

地区別人口

安来市の平均年齢はおよそ 48 歳。その中で、
最も平均年齢の低い（若い）地区は島田地区である。

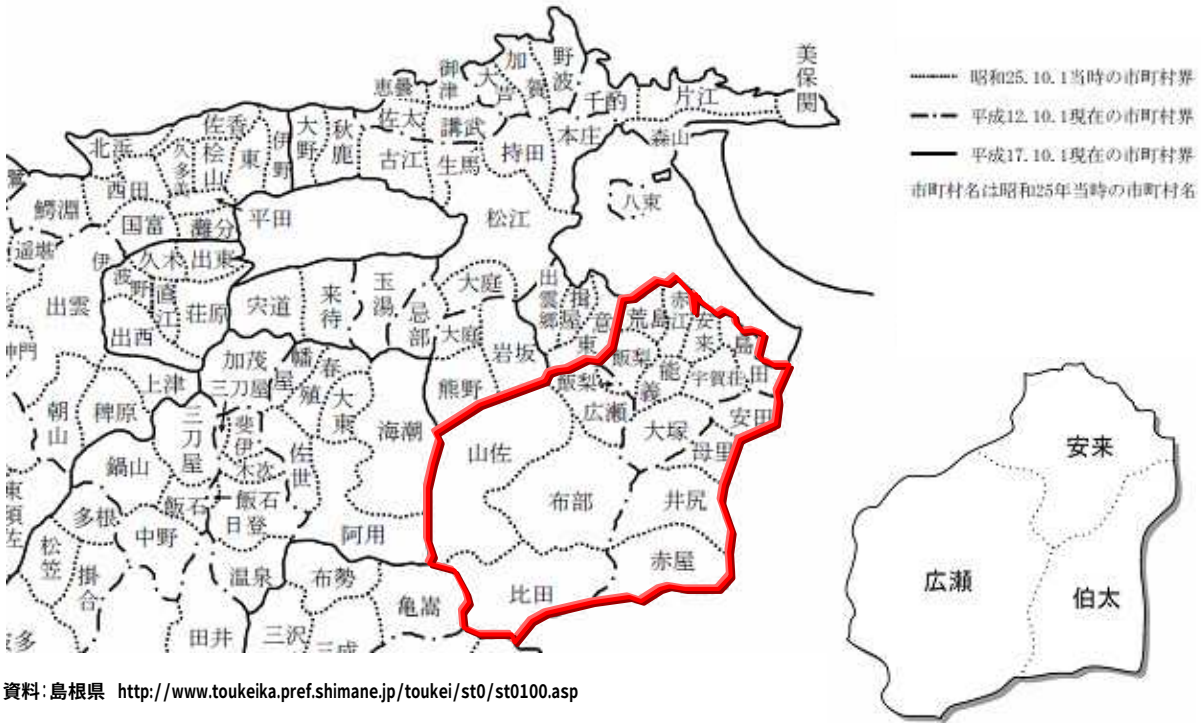
■地区別世帯数と人口

（平成 21 年/単位：世帯,人,歳）

地区名	世帯数	住民基本台帳							外国人		
		総数	男	女	15 歳未満	15 歳～64 歳	65 歳以上	平均年齢	総数	男	女
総数	13,975	43,309	20,675	22,634	5,600	24,989	12,720	47.7	160	27	133
安来地区	4,251	11,304	5,425	5,879	1,592	6,656	3,056	45.7	32		
赤江地区	1,267	4,203	2,044	2,159	622	2,513	1,068	45.9	14		
荒島地区	1,302	4,113	1,951	2,162	551	2,387	1,175	47.1	7		
飯梨地区	533	1,709	803	906	149	969	591	51.5	1		
能義地区	430	1,668	796	872	215	928	525	48.9	5		
大塚地区	509	1,692	802	890	205	945	542	49.8	2		
宇賀荘地区	528	1,978	950	1,028	217	1,186	575	48.5	4		
島田地区	958	2,987	1,441	1,546	484	1,841	662	43.2	23		
広瀬地区	1,544	4,812	2,257	2,555	612	2,674	1,526	48.8	50		
比田地区	436	1,372	642	730	101	727	544	54.9	2		
山佐地区	234	806	390	416	77	441	288	51.8	1		
布部地区	430	1,414	666	748	128	738	548	52.6	5		
安田地区	483	1,640	797	843	253	969	418	45.2	6		
母里地区	457	1,644	779	865	210	986	448	47.0	6		
井尻地区	314	1,066	500	566	103	564	399	52.2	1		
赤屋地区	299	901	432	469	81	465	355	54.0	1		

資料：市民課　平成 21 年 3 月 31 日現在

■島根県旧市町村環境図



資料：島根県　http://www.toukeika.pref.shimane.jp/toukei/st0/st0100.asp

福祉

平成 20 年の高齢化率は、島根県が全国で最も高い（28.6%）で、安来市はそれを上回る数値である。

■高齢者福祉

（単位：人，%）

区分	平成 19 年（2007 年）	平成 20 年（2008 年）	平成 21 年（2009 年）
総人口	44,174	43,743	43,309
高齢者（65 歳以上）	12,589	12,662	12,720
	28.50%	28.95%	29.37%

資料：市民課　各年 3 月 31 日現在
注）人口集計は、その月の最終開庁日で記載している。（月末が休日又は祝日の場合は、前日で記載している。）

■社会福祉施設

（単位：施設，人）

区分	平成 19 年（2007 年）			平成 20 年（2008 年）			平成 21 年（2009 年）		
	施設数	定員	入所者数	施設数	定員	入所者数	施設数	定員	入所者数
児童館	2	90	22	1	30	9	1	30	8
保育所（園）	19	1,320	1,169	19	1,320	1,245	19	1,320	1,245

資料：子ども未来課　各年 4 月 1 日現在

（単位：施設，人）

区分			平成 19 年（2007 年）	平成 20 年（2008 年）	平成 21 年（2009 年）
養護老人ホーム	市内	施設数	1	1	1
		定員	50	50	50
		入所者数	39	41	41
	市外の施設への入所者数		15	16	18
特別養護老人ホーム	市内	施設数	4	4	4
		定員	270	270	260
		入所者数	270	270	251
	市外の施設への入所者数		0	0	6

資料：福祉課、高齢者安心課　各年 4 月 1 日現在

■障がい者福祉

◇手帳所有者数の推移

（単位：人）

区分	平成 19 年（2007 年）	平成 20 年（2008 年）	平成 21 年（2009 年）
身体障がい者手帳	2,555	2,195	2,258
知的障がい者療育手帳	333	348	367
精神障がい者保健福祉手帳	204	223	240

資料：福祉課　各年 4 月 1 日現在

◇障がい児保育の状況

（単位：か所，人）

区分	平成 19 年度	平成 20 年度
実施か所数	11	12
実利用児童数	20	22

資料：安来市障がい者基本計画（子ども未来課）
平成 20 年度では、12 か所の保育所で 22 人の障がい児を保育

◇企業における障がい者雇用の状況

（平成 21 年/単位：人，社，%）

常用労働者数	障がい者数	実雇用率	法定雇用率適用企業数	未達成企業の割合
4,491	67.5	1.5	16	40.7

資料：松江公共職業安定所安来出張所　平成 21 年 6 月 1 日現在

■介護保険

（単位：人，%）

区分	平成 19 年（2007 年）	平成 20 年（2008 年）	平成 21 年（2009 年）
第 1 号被保険者数	12,599	12,678	12,739
要支援・要介護認定者数	2,369	2,439	2,069
認定率	18.8	19.2	20.5

資料：高齢者安心課　各年 3 月 31 日現在

■国民健康保険

（単位：世帯，人，円）

区分		平成 19 年度（2007 年）	平成 20 年度（2008 年）
被保険者数	世帯	8,060	6,052
	人員	15,701	10,786
保険税	1世帯当たり	147,889	146,859
	1人当たり	75,918	82,402
医療の給付	保険給付費	2,908,323,421	2,873,715,763
	1世帯当たり	360,834	474,837
	1人当たり	185,232	266,430

資料：保険年金課

■国民年金

（単位：人）

区分		平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
被保険者数		7,664	7,342	6,453
第1号	強制	5,086	4,872	4,722
	任意	25	30	12
第 3 号		2,553	2,440	1,719
福祉年金受給権者		31	20	19

資料：保険年金課
第1号（強制）：自営業・自由業・学生・フリーアルバイター・年金の適用を受けていない事業所に勤務している人などで 20 歳以上 60 歳未満の人
第1号（任意）：60 歳以上 65 歳未満の人、海外に居住している人など
第 3 号　　：厚生年金・共済年金に加入している配偶者に扶養されている人

■生活保護

（単位：人，%，千円）

区分		平成 18 年度		平成 19 年度		平成 20 年度	
被保険者数		186		2,412		2,418	
保護率（人口千人）対		4.22		4.63		4.64	
保護費総額		256,633		314,550		321,154	
内訳		人員	金額	人員	金額	人員	金額
扶助	生活	1,803	74,780	2,063	82,378	2,023	81,035
	住宅	1,209	14,959	1,414	17,572	1,446	18,528
	教育	118	915	188	1,316	174	1,210
	医療	1,633	137,812	1,849	182,601	1,900	191,684
	出産・生業・葬祭	26	190	27	251	39	1,742
	介護	244	12,492	337	10,807	336	7,293
保護施設事務費		94	15,485	121	19,626	113	19,662

資料：福祉課

１人当たりの医療費は？

医療費（一般＋退職）の都道府県順位

（平成 20 年度/単位：円）

順位	都道府県名	1 人当たりの医療費	指数
	全国平均	278,848	100.0
1	広島県	341,078	122.3
2	香川県	335,776	120.4
3	山口県	335,611	120.4
4	徳島県	335,327	120.3
5	島根県	335,166	120.2
6	大分県	333,799	119.7
7	長崎県	332,350	119.2
8	佐賀県	328,083	117.7
9	北海道	325,195	116.6
10	鹿児島県	324,632	116.4

資料：国民健康保険中央会
注）医療費は、一般、退職を合算して計算しています。
　指数：全国平均＝100 としたとき

医療費（老人）の都道府県順位

（平成 20 年度/単位：円）

順位	都道府県名	1 人当たりの医療費	指数
	全国平均	853,391	100.0
1	福岡県	1,081,244	126.7
2	北海道	1,031,914	120.9
3	高知県	1,023,040	119.9
4	長崎県	990,014	116.0
5	広島県	989,658	116.0
28	島根県	809,314	94.8

資料：国民健康保険中央会

教育・文化

小中高の本務教員１人当たりの児童数は、全国平均を上回り、より良い教育環境が整えられている。

■学校の現況（幼稚園・小・中学校）

（平成 21 年/単位：校，学級，人）

区分		幼稚園	小学校	中学校
学校数	総数	6	17	5
	公立	6	17	5
	私立	0	0	0
学級数		17	136	49
生徒数	総数	207	2,278	1,232
	男	93	1,160	617
	女	114	1,118	615
教員数		24	227	106
1教員当たりの生徒数		8.6	10.0	11.6

資料：学校教育課　平成 21 年 5 月 1 日現在

■年齢別園児数（幼稚園）

（平成 21 年/単位：人）

区分			3 歳児	4 歳児	5 歳児
幼稚園	総数	207	53	72	82
	男	93	23	28	42
	女	114	30	44	40

資料：学校教育課　平成 21 年 5 月 1 日現在

■学年別児童・生徒数（小・中学校）

（平成 21 年/単位：人）

区分			1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
小学校	総数	2,278	375	383	397	355	388	380
	男	1,160	195	206	189	178	203	189
	女	1,118	180	177	208	177	185	191
中学校	総数	1,232	416	401	415			
	男	617	231	189	197			
	女	615	185	212	218			

資料：学校教育課　平成 21 年 5 月 1 日現在

■学校の現況（高校）

（平成 21 年/単位：校，人）

区分	高校
学校数	2
生徒数	811
教員数	74
1教員当たりの生徒数	11.0

資料：学校基本調査結果報告書　平成 21 年 5 月 1 日現在

島根県が１位？

学校教育の充実

小学校本務教員1人当たりの児童数
島根県 1位　11.46 人
全国平均　17.20 人

中学校本務教員1人当たりの児童数
島根県 2位　11.06 人
全国平均　14.48 人

高等学校本務教員1人当たりの児童数
島根県 2位　11.42 人
全国平均　14.10 人

資料：統計指標でみる島根のすがた
平成 20 年 5 月 1 日現在

■文化財の種別

（平成 21 年/単位：件）

種別	総数	指定別			地区別		
		国	県	市	安来	広瀬	伯太
建造物	10	2	5	3	7	2	1
絵画	3	1	0	2	3	0	0
彫刻	20	6	5	9	9	5	6
工芸品	17	2	6	9	14	1	2
書跡・典籍・古文書	6	3	0	3	5	1	0
考古資料	8	0	1	7	7	0	1
工芸技術	1	0	1	0	0	1	0
有形民俗	4	2	1	1	2	2	0
無形民俗	6	0	0	6	3	2	1
史跡	14	5	3	6	12	2	0
名勝	2	0	0	2	2	0	0
天然記念物	2	0	1	1	0	0	2
重要伝統的建造物	0	0	0	0	0	0	0
登録有形文化財	20	20	0	0	4	0	16

資料：文化課　平成 21 年 3 月 31 日現在

■文化施設利用状況

（単位：人）

区分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
安来市立図書館	42,242	48,508	48,023
広瀬図書室（ふれあいセンター）	3,753	2,963	3,823
はくた文化学習館（図書館・視聴覚室）	12,018	11,373	9,430
安来市立歴史資料館	-	3,047	3,952
安来市民会館	38,959	39,615	40,753

資料：文化課

■運動施設利用状況

（単位：件，人）

区分		平成 18 年度		平成 19 年度		平成 20 年度	
		件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
安来南体育館		54	3,035	51	571	49	3,406
安来西部球場		46	2,990	41	1,397	40	6,783
広瀬中央公園	体育館	479	17,093	1,213	20,002	1,966	22,643
	体育館以外の施設合算	672	10,675	863	11,584	899	13,201
伯太運動広場（各施設合算）		30	5,030	120	6,891	117	7,220
伯太体育館		102	8,899	296	8,584	107	9,189

資料：地域振興課

一般的な文化財は？

清水寺（清水町）

天台宗の古刹。5 万坪の境内には、三重塔など、県や国の重要文化財も数多く、荘厳な空気に包まれています。

富田八幡宮（広瀬町広瀬）

保元平治の頃（1156～1159）平家の武将平景清が富田城築城にあたって月山山頂にあった社を現在の八幡山に移したといわれている。参道は苔むした石畳が両脇の杉、欅の大樹に覆われ、森厳さを保っている。

金屋子神社（広瀬町比田）

1200 社を数える「金屋子神社」の総本山。昔の伝統を頑なに守るたたらの職人をはじめ、鉄にかかわる様々な人々の信仰を集めており、現在でも製鉄・治金関係者らが数多く参詣しています。ちなみに、鳥居は石づくりでは日本一と言われているそうです。

古代出雲王陵の丘（荒島町）

国指定史跡、全国最大の方墳・造山古墳群を中心に、荒島地域は大型古墳ゾーンとして有名で、この周囲一体を公園として整備。標高約 50m の墳丘上からは、中海をはじめ、遠くには島根半島も一望。

資料：安来市観光サイト　史跡・名勝
http://www.city.yasugi.shimane.jp/p/2/11/4/

住宅・公園

安来市は、持ち家率が約 8 割で、住宅規模は 1 世帯当たりの延べ面積が約 50 坪である。

■公営住宅

種類	名称	所在地
市営住宅	十神団地※	黒井田町
市営住宅	臼井団地※	切川町
市営住宅	大塚団地※	大塚町
市営住宅	長谷津団地	月坂町
市営住宅	蕨谷団地	黒井田町
市営住宅	和田団地	黒井田町
市営住宅	糺団地	安来町
市営住宅	柳団地	荒島町
市営住宅	内代団地※	切川町
市営住宅	栄町住宅※	広瀬町広瀬
市営住宅	小川内住宅※	広瀬町広瀬
市営住宅	町帳住宅	広瀬町町帳
市営住宅	布部住宅	広瀬町布部
市営住宅	殿町住宅	広瀬町広瀬
市営住宅	広瀬住宅	広瀬町広瀬
市営住宅	布部住宅	広瀬町布部
市営住宅	殿町住宅	広瀬町広瀬
市営住宅	広瀬住宅	広瀬町広瀬
市営住宅	布部住宅	広瀬町布部
市営住宅	宇波住宅	広瀬町宇波
市営住宅	上山佐住宅	広瀬町上山佐
市営住宅	西谷住宅	広瀬町西谷
市営住宅	奥田原住宅	広瀬町奥田原
市営住宅	西比田住宅	広瀬町西比田
市営住宅	東比田住宅	広瀬町東比田
市営住宅	招団地	伯太町西母里
市営住宅	石堂前団地	伯太町安田中
市営住宅	御崎団地	伯太町東母里
市営住宅	安田団地	伯太町安田
市営住宅	城山団地	伯太町赤屋
若者住宅	栄町ハイツ	広瀬町町帳
若者住宅	石原住宅	広瀬町石原
若者住宅	ハイツ MISAKI	伯太町東母里
県営住宅	臼井県営住宅	切川町
県営住宅	神塚県営住宅	久白町
県営住宅	東臼井県営住宅	切川町
県営住宅	和田県営住宅	黒井田町
雇用促進住宅	切川雇用促進住宅	切川町

資料：建築住宅課　http://www.city.yasugi.shimane.jp/p/1/5/5/5/1/1/

注）※印の団地については老朽化等の理由により、新規で入居募集をしていません。

糺（ただす）団地

（写真上：外観・下：内部の様子）

糺市営住宅は、それぞれのライフスタイルに微妙な違いのある高齢者、障がい者、青壮年層などの家族が複合的に生活するように計画された住宅団地です。

城山団地

住戸には専用庭をとり、一戸建感覚を意識しています。

ハイツ MISAKI

若者定住向け賃貸住宅として、優良な設備（水洗トイレ、オール電化など）を完備しているのが特徴です。

■住宅の種類・住宅の所有の関係別一般世帯数等

(平成17年/単位:世帯, 人, ㎡)

住居の種類(住宅の所有の関係)			世帯数	世帯人員	1世帯当りの		1人当りの延べ面積
					人員	延べ面積	
住宅に住む一般世帯	合計		12,679	42,596	3.36	147.0	43.8
	主世帯	小計	12,605	42,446	3.37	147.6	43.8
		持ち家	10,451	37,380	3.58	165.7	46.3
		公営・都市機構・公社借家	768	1,965	2.56	60.7	23.7
		民営借家	1,091	2,333	2.14	57.3	26.8
		給与住宅	295	768	2.60	65.0	24.9
	間借り		74	150	2.03	46.0	22.7
住宅以外に住む一般世帯			174	192	1.10	-	-
一般世帯の総数			12,853	42,788	3.33	-	-

資料:国勢調査　平成 17 年 10 月 1 日現在

■安来市都市公園（6 箇所）

(平成 18 年/単位:ha, 人)

名称	位置	面積合計	人口1人当たりの面積(㎡/人)	都市計画区域内人口
安来公園	安来町 1365 番地	25.35	7.64	33,194
安来運動公園	吉岡町 450 番地			
広瀬中央公園	広瀬町広瀬 307 番地			
うさぎ山児童公園	西荒島町 121 番地 2			
みさき親水公園	亀島町 9 番地 10			
汐彩公園	汐手が丘 238 番地			

資料:島根県　島根の公園現況一覧表　平成 18 年 3 月 31 日現在

安来公園

丘の上の公園一帯に、約 500 本のソメイヨシノが開花します。夜には、ぼんぼりがともり、開花期間中は「桜まつり」が開催され、『安来節』を広めた渡部お糸にちなんだイベントも等も行われます。

■安来市児童遊園（13 箇所）

名称	位置
東飯梨児童遊園	飯梨町761番地2
あたご児童遊園	安来町1984番地14
とかみ児童遊園	安来町(港湾施設)
東十神児童遊園	新十神町3番地
糺児童遊園	安来町1293番地
大塚児童遊園	大塚町351番地1
東旭町児童遊園	荒島町1728番地
和田児童遊園	黒井田町1894番地
内代児童遊園	切川町1304番地
日白児童遊園	日白町133番地1
新十神児童遊園	新十神町70番地
猪子塚児童遊園	荒島町3326番地17
島田児童遊園	島田町43番地1

資料:安来市児童遊園の設置及び管理に関する条例

広瀬中央公園

総合体育館をはじめ、陸上競技場・野球場・テニスコート等の設備が整っているため、各種大会にも利用されています。

古代出雲王陵の丘造山公園

敷地内にある造山公園では、大型方墳や前方後方墳などが見学できます。古墳の上に立つと中海や島根半島が一望でき、国引き神話の世界に引き込まれます。

■安来市農村公園（2 箇所）

名称	位置
なかうみ農村公園	東赤江町 1638 番地 1
出雲織･のき白鳥の里	沢町 317 番地 1

資料：安来市農村公園の設置及び管理に関する条例

出雲織・のき白鳥の里

絣織りの伝統工芸の紹介や展示、また地域の特産品、新鮮な農産物の販売、白鳥観察棟などを配置した農村公園です。

■安来市史跡公園（5 箇所）

名称	位置
古代出雲王陵の丘造山公園	荒島町 1965 番地
古代出雲王陵の丘仲仙寺公園	西赤江町 825 番地 5
古代出雲王陵の丘宮山公園	西赤江町 853 番地 5
古代出雲王陵の丘塩津山公園	久白町 879 番地 2
史跡富田城跡公園	広瀬町富田 2188 番地 4

資料:安来市史跡公園条例

なかうみ農村公園

子供たちに自然の大切さを知ってもらおうと、風力発電システムのほか、果樹観察園、学習農園等を配置し、環境学習に貢献しています。特に高さ 74m、羽根の長さ 24mの発電用風車は、中国地方最大規模を誇り、公園のシンボルとして見る者の目を驚かせています。

■安来市公園（4 箇所）

名称	位置
太鼓檀公園	安来市広瀬町富田 529 番地外
川中島公園	安来市広瀬町広瀬 1952 番地 4
山中幸盛公生誕地公園	安来市広瀬町富田 436 番地 1 外 3 筆
広瀬温泉月山の湯公園	安来市広瀬町富田 727 番地 1 外

資料:安来市公園条例

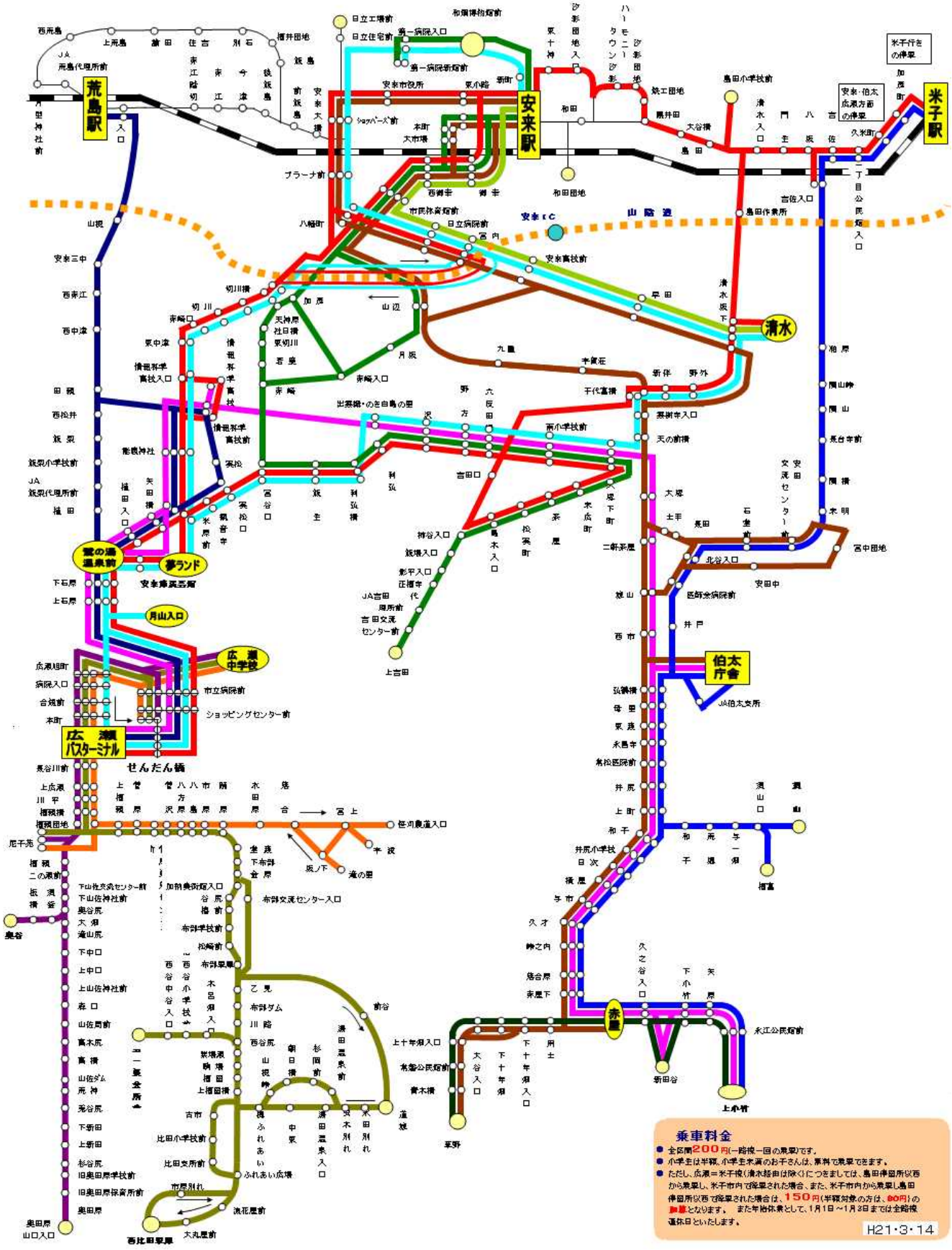
太鼓壇公園

桜の名所として知られ、山中鹿介像を取り囲むように咲く桜はウットリするほどに美しい。月山の麓にあり、山頂までの爽快なルートは、ハイキングコースとしても人気です。

交通・観光

観光客入込数は 140 万人前後で推移している。
対前年度比は-3.17%であった。

■安来市広域生活バス路線図



■安来市広域生活バス利用状況

（単位：人）

路線名	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	前年度比（増減）
総数	397,202	431,997	436,501	4,504
観光ループ（外回り・内回り）	19,664	20,540	20,465	△75
買い物バス	8,633	8,991	9,447	456
スクールバス	45,624	48,886	52,013	3,127
安来・吉田線	32,079	30,648	31,547	899
安来・清水線	1,337	1,401	1,529	128
安来・海岸線	1,251	1,356	1,227	△129
広瀬・米子線	93,590	94,101	97,286	3,185
広瀬・荒島線	39,902	42,647	47,208	4,561
広瀬・宇波線	15,815	14,429	14,491	62
広瀬・奥田原線	25,470	35,746	33,832	△1914
広瀬・西比田線	34,785	59,162	50,507	△8655
伯太（上小竹）・広瀬線	13,061	13,001	13,283	282
伯太（草野）・安来線	34,458	33,474	37,472	3,998
伯太（福冨）・米子線	20,708	17,399	18,020	621
上小竹・草野線	10,825	10,216	8,174	△2042

資料：市民参画課

■観光客入込数

（単位：人）

区分	平成 19 年（2007 年）	平成 20 年（2008 年）	平成 21 年（2009 年）
総数	1,421,337	1,429,655	1,384,376

資料：商工観光課　各年 1～12 月迄の合計

■観光地別入込客数

（平成 21 年/単位：人）

施設名		人数
安来	足立美術館	431,334
	和鋼博物館	9,790
	清水寺	299,600
	鷺の湯温泉	164,059
	夢ランドしらさぎ	144,369
	安来節屋	3,900
	安来節演芸館	89,590
	観光交流プラザ	45,777
広瀬	広瀬絣センター	24,361
	歴史民俗資料館	3,798
	月山の湯憩いの家	33,663
	富田山荘	51,211
	山佐ダム	2,926
	比田温泉健康増進施設	46,818
	金屋子神話民俗館	683
伯太	チューリップ祭	25,000
	上の台緑の村	7,497

資料：商工観光課　平成 21 年 1～12 月迄の合計
注）観光交流プラザの人数は、ＪＲのみを利用した人は含まれていない。

■主な観光地

資料：安来市観光サイト　http://www.city.yasugi.shimane.jp/p/2/7/1/

ごみ

平成 20 年度の資源ごみのリサイクル率は 25%で、
ごみの排出量は、対前年度比-3.8%であった。

■家庭ごみ年間排出量の推移

(単位：t，%)

区分		平成 19 年度	平成 20 年度
総処理量 ①		11,985	11,639
資源ごみ ②	総数	3,132	2,906
	その他の紙類	305	277
	缶類（飲料用）	66	56
	金属類	204	179
	ビン類（飲食用）	275	260
	ペットボトル	59	56
	プラスチック類	535	506
	新聞・新聞チラシ	751	684
	書籍・雑誌・冊子	477	460
	ダンボール	188	180
	牛乳パック	8	7
	衣類	40	43
	蛍光管・体温計	6	6
	板ガラス	3	2
	粗大ごみ	215	190
燃やすごみ		8,567	8,477
埋立ごみ		286	256
リサイクル率 ②/①		26.1	25.0

資料：環境衛生課

■安来市のごみ処理量

(平成 19 年度/単位：人，t)

総人口	43,573
計画収集人口	43,573
自家処理人口	0

ごみ総排出量	合計		11,954
	収集ごみ	小計	11,069
		混合ごみ	0
		可燃ごみ	7,985
		不燃ごみ	219
		資源ごみ	2,845
		その他	0
		粗大ごみ	20
	直接搬入ごみ		885
	集団回収量		0

合計	11,954
生活系ごみ搬入量	9,648
事業系ごみ搬入量	2,306
集団回収量	0

資料：環境省 一般廃棄物処理事業実態調査
注）総人口は平成 19 年 4 月 1 日現在

■ごみ焼却とし尿処理の状況

(単位：t)

区分		平成 19 年度		平成 20 年度	
		市施設	処理委託施設	市施設	処理委託施設
ごみ焼却	総数	238	8,329	-	8,477
	焼却量（1日平均）	13.98	32.03	-	26.95
し尿	総数	13,990	-	13,353	-
	処理量（1日平均）	38.22	-	36.58	-

資料：環境衛生課
注）平成 20 年度から市施設でのごみ焼却については、清瀬クリーンセンターの老朽化により、整備までの間外部委託としている。

(平成 19 年度/単位：人，kℓ)

総人口			43,573
非水洗化	総数		12,209
	計画収集人口		11,307
	自家処理人口		902
水洗化	総数		31,364
	下水道人口		15,138
	コミュニティ・プラント人口		0
	浄化槽人口	総数	16,226
		うち合併処理浄化槽人口	12,395

資料：島根県 総人口は平成 19 年 4 月 1 日現在
注）コミュニティ・プラントとは、下水道区域外の集落や団地などに設置された地域し尿処理施設のことです。

高尾クリーンセンター
粗大ごみ処理施設

清瀬クリーンセンター
可燃ごみ積替え施設

広瀬一般廃棄物最終処分場
不燃物処理施設
埋立終了年度：2021

伯太一般廃棄物最終処分場
不燃物処理施設
埋立終了年度：2011

上下水道

公共下水道の普及率は、平成 20 年度末現在で、43.8%にとどまっている。

■上水道の給水状況

(単位:戸, 人, ㎥, %)

区分		平成 19 年度			平成 20 年度		
		総数	上水道	簡易水道	総数	上水道	簡易水道
給水戸数		13,890	11,015	2,875	14,734	11,723	3,011
給水人口		43,254	33,752	9,502	42,899	33,563	9,336
年間	配水量	5,362,978	4,432,600	930,378	5,179,372	4,282,330	897,042
	有収水量	4,716,182	3,907,000	809,182	4,611,004	3,825,490	785,514
有収率		87.9	88.1	87.0	89.0	89.3	87.6
1日平均		12,921	10,704	2,217	12,598	10,452	2,146
1人1日平均		0.30	0.32	0.23	0.29	0.31	0.23

資料:水道管理課

■公共下水道の設備状況（累計）

(単位:ha, 戸, 人, %)

区分	平成 19 年度				平成 20 年度			
	総数	安来	広瀬	伯太	総数	安来	広瀬	伯太
処理面積	466.64	350.53	116.11	0	477.40	360.17	117.23	0.00
処理戸数	6,463	5,288	1,175	0	6,671	5,488	1,183	0
水洗化人口	15,138	12,290	2,848	0	15,642	12,739	2,903	0
公共下水道の普及率	42.5	34	8.5	0.0	43.8	35.3	8.6	0.0
安来市下水道の普及率	75.0	-	-	-	76.9	-	-	-

資料:下水道課

■農業集落排水事業の設備状況（累計）

(単位:ha, 戸, 人, %)

区分	平成 19 年度				平成 20 年度			
	総数	安来	広瀬	伯太	総数	安来	広瀬	伯太
処理戸数	2,307	1,007	250	1,050	2,322	1,010	255	1,057
水洗化人口	6,533	2,564	571	3,398	6,622	2,640	590	3,392
農業集落排水事業の普及率	19.1	8.6	1.9	8.4	19.0	8.5	1.9	8.4

資料:下水道課

■農業集落排水施設の推移（累計）

(単位:km)

区分	平成 19 年度	平成 20 年度
総数	132.7	132.7
安来	57.8	57.8
広瀬	25.1	25.1
伯太	49.8	49.8

資料:下水道課

母里地区農業集落排水施設周辺では、毎年、チューリップ祭りが開催されています。

■水道普及率

(単位:%)

区分	平成 19 年度
安来市の水道普及率	98.3

資料:島根県　平成 20 年 3 月 31 日現在

■下水道管渠（※かんきょ）延長の推移（累計）

(単位:km)

区分	平成 19 年度	平成 20 年度
総数	123.4	127.3
安来	86.7	89.8
広瀬	36.7	37.5
伯太	0.0	0.0

資料:下水道課

※管渠とは、各家庭の水洗便所や台所などから排出される汚水を終末処理場に運んだり（汚水管）、道路や屋根に降った雨を川や湖に排除するため（雨水管）の施設です。私有地内の配管は個人が設置します。

■農業集落排水施設

施設名	
安来	宇賀荘地区農業集落排水施設
	大塚地区農業集落排水施設
	能義地区農業集落排水施設
	吉田地区農業集落排水施設
広瀬	西比田地区農業集落排水施設
伯太	母里地区農業集落排水施設
	井尻地区農業集落排水施設
	安田地区農業集落排水施設
	赤屋地区農業集落排水施設
	古市地区農業集落排水施設
	横屋地区農業集落排水施設
	峠之内地区農業集落排水施設

資料:下水道課

消防

平成 20 年の救急件数は 1,559 件で、半数が、急病（54%）によるものである。

■火災発生状況

（単位：件数，人，世帯）

区分		平成 18 年（2006 年）	平成 19 年（2007 年）	平成 20 年（2008 年）
件数		17	19	18
火災種別	建物	10	2	8
	林野	3	4	2
	車両	1	2	0
	その他	3	11	0
損害程度	死者	0	0	0
	傷者	1	0	2
	罹災世帯	6	1	15
	罹災人員	20	2	32
主な原因	火入れ	-	-	6
	取灰	-	-	2
	たき火	-	2	1
	こんろ	-	-	1
	火遊び	-	-	1
	火のついたゴミ	-	-	1
	不明	-	1	6
地域別	安来地区	11	6	10
	広瀬地区	3	7	7
	伯太地区	3	6	1

資料：安来市消防本部　消防年報　各年 1～12 月迄の合計

■消防団員数

（平成 21 年/単位：人）

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
実員	1	7	22	16	42	89	604	781

資料：安来市消防本部　消防年報　平成 21 年 3 月 31 日現在

■救急件数

（単位：件数，人）

区分		平成 18 年（2006 年）	平成 19 年（2007 年）	平成 20 年（2008 年）
件数		1410	1486	1559
内訳	火災	4	0	3
	自然災害	2	0	0
	水難事故	3	3	2
	交通事故	149	159	165
	労働災害	15	10	14
	運動競技	10	23	13
	一般負傷	194	231	260
	加害	7	3	6
	自損行為	21	27	28
	急病	786	777	853
	その他	219	253	215
総搬送人員		1351	1447	1506

資料：安来市消防本部　消防年報　各年 1～12 月迄の合計

安来市消防署

島根県安来市安来町 917-28

救急車

救急車の最大の目的は、緊急の差し迫った傷病者を病院などの医療施設まで迅速かつ安全に搬送することです。

消防車

消防車は、火災やその他の災害に際して、鎮圧や防御を行なう際に使用される特殊な装備を持つ自動車です。

救助工作車

救助工作車は、あらゆる救助事案に対応できる救助資機材を積載し、救助活動を行う車です。

化学消防車

化学消防車は、水による消火が不可能・困難な石油コンビナートや航空事故等の重大な危険物火災に対応する車です。

はしご車

はしご車は、高所の消火及び救助に使用される車です。

警察

平成 21 年の安来市内の昼夜別交通事故発生状況は、昼間 117 人･夜間 31 人であった。

■月別交通事故発生状況

(平成 21 年/単位:人)

区分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
件数	148	7	9	15	11	12	9	19	14	17	12	10	13
死者	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
傷者	176	11	14	18	12	14	13	23	15	20	13	9	14

資料:交通事故統計だより　http://www2.pref.shimane.jp/police/

■事故類型別発生状況

(単位:人)

区分		平成 20 年 (2008 年)	平成 21 年 (2009 年)
件数		139	148
人対車輌		10	10
車輌相互	正面	11	12
	追突	45	65
	出会い頭	42	30
	追越時	1	1
	右折時	7	10
	左折時	2	3
	その他	12	9
車輌独断		9	8
列車		0	0

資料:交通事故統計だより　各年 1～12 月迄の合計

■状態別死傷者数

(平成 21 年/単位:人)

区分	四輪車		二輪車		自転車	歩行者	その他
	運転	同乗	運転	同乗			
こども	0	4	0	0	3	2	0
高校生	0	0	0	0	3	1	0
20 歳未満	0	2	1	0	0	0	0
20～24 歳	16	0	1	0	0	0	0
25～29 歳	10	3	2	0	2	0	0
30 歳代	19	3	0	0	2	0	0
40 歳代	19	5	0	0	0	1	0
50 歳代	19	5	1	0	0	0	0
60～64 歳	9	1	1	0	2	2	0
高齢者	21	4	5	0	4	5	0

資料:交通事故統計だより　平成 21 年 1～12 月迄の合計

■第一当事者の違反別発生状況

(単位:人)

区分	平成 20 年 (2008 年)	平成 21 年 (2009 年)
件数	139	148
前方不注意	33	49
安全不確認	35	24
動静不注視	22	34
操作不適	7	1
交差点安全	1	1
速度の出過ぎ	5	5
信号無視	5	4
追越方法	0	1
右左折違反	0	2
一時不停止	10	5
その他	20	22
歩行者の違反	0	0
不明	1	0

資料:交通事故統計だより　各年 1～12 月迄の合計

安来市の防犯灯設置基数 (補助対象分)

夜間の犯罪の発生及び青少年の非行を防止し、市民生活の安全を図るために、地域の取り組みとして防犯灯を地元の自治会等が設置されています。

安来市では、自治会等の負担軽減を図るため、設置事業費の半額を補助 (上限1万5千円) する補助事業を行っています。(平成 21 年度現在)

安来市が補助した防犯灯の設置基数

(単位:基)

	設置数
平成 16 年度	20
平成 17 年度	41
平成 18 年度	50
平成 19 年度	62
平成 20 年度	53

資料:総務課
注) 平成 16 年度は市町村合併後 (10 月 1 日以降) に設置した基数です。

産業

安来市は、製造業にかなり特化した産業構造を有している。

■事業所

（平成 17 年/単位：人，%）

区分		総数	人口		割合	
			男	女	男	女
総数		23,109	12,794	10,301	55.4	44.6
第一次産業	総数	3,231	1,662	1,569	51.4	48.6
	農業	3,195	1,629	1,566	51.0	49.0
	林業	27	26	1	96.3	3.7
	漁業	9	7	2	77.8	22.2
第二次産業	総数	7,774	5,672	2,088	73.0	26.9
	鉱業	20	15	5	75.0	25.0
	建設業	2,132	1,812	320	85.0	15.0
	製造業	5,622	3,859	1,763	68.6	31.4
第三次産業	総数	12,047	5,426	6,621	45.0	55.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	64	56	8	87.5	12.5
	情報通信業	166	113	53	68.1	31.9
	運輸業	840	703	137	83.7	16.3
	卸売・小売業	3,427	1,548	1,879	45.2	54.8
	金融・保険業	319	124	195	38.9	61.1
	不動産業	43	22	21	51.2	48.8
	飲食店・宿泊業	750	236	514	31.5	68.5
	医療・福祉	2,353	396	1,957	16.8	83.2
	教育・学習支援業	746	273	473	36.6	63.4
	複合サービス事業	451	298	153	66.1	33.9
	サービス業（他に分類されないもの）	2,111	1,112	999	52.7	47.3
	公務（他に分類されないもの）	720	511	209	71.0	29.0
分類不能		57	34	23	59.6	40.4

資料：国勢調査　平成 17 年 10 月 1 日現在

■林業

（平成 17 年/単位：ha，㎥，戸）

林野面積	合計		30,071	森林蓄積	人工林	32,753 百
	国有林		483		天然林	21,397 百
	民有林	小計	29,588	林業経営体数	総数	420
		緑資源公団	5,081		うち家族経営	371
		公有林	2,626	組織形態別林業経営体	法人化している経営体	14
		私有林	21,881		農事組合法人	-
	現況森林面積		29,867		会社	2
	森林以外の草生地		204		各種団体	4
森林計画による森林面積	合計		29,869		その他法人	8
	国有		483		地方公共団体・財産区	1
	民有		29,386		法人化していない経営体	405
森林蓄積	合計		54,150 百	私有林面積	在村者	19,249
	針葉樹		38,619 百		不在村者	2,428
	広葉樹		15,531 百	参考：林家数		1,992

資料：2005 年農林業ｾﾝｻｽ　平成 17 年 2 月 1 日現在

■農業

（平成 17 年/単位：人，戸，ha，%）

農家数			3,598
自給的農家			613
販売農家			2,985
主副業分類	主業農家		318
	準主業農家		1,034
	副業的農家		1,633
専兼業分類	専業農家		354
	第 1 種兼業農家		318
	第 2 種兼業農家		2,313
経営耕地規模別農家数（販売農家）	0.5ha未満		491
	0.5～1.0ha		1,165
	1.0～2.0ha		1,068
	2.0～3.0ha		176
	3.0ha以上		85
農家人口	総数		15,933
	男		7,706
	女		8,227
基幹的農業従事者数	総数		3,565
	男		1,665
	女		1,900
	うち 65 歳未満	男	445
		女	601
耕地面積	合計		4,140
	田		3,490
	畑	普通畑	417
		樹園地	223
		牧草地	3
作付延べ面積			3,460
耕地利用率			83.6

資料：2005 年農林業ｾﾝｻｽ　平成 17 年 2 月 1 日現在

■漁業

（平成 15 年/単位：世帯，人，隻，面，a，経営体）

海面漁業	漁業世帯数		35
	漁業就業者数	男	36
		女	3
	漁船隻数	無動力船隻数	5
		船外機付船隻数	21
		動力船隻数	17
内水面漁業	養殖池数		71
	養殖面積		536
	養殖業従事者数		24
	営んだ経営体数		14

資料：2003 年漁業ｾﾝｻｽ　平成 15 年 11 月 1 日現在

■工業

◇産業中分類別統計表（従業者４人以上の事業所）

（平成 19 年/単位：人，万円）

区分	事業所数	従業者数	製造品出荷額等	区分	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
総数	104	5,869	22,481,849	窯業・土石製品	3	41	133,262
食料品	23	619	600,607	鉄鋼	11	3,107	18,574,883
飲料・たばこ・飼料	5	33	35,806	金属製品	9	87	80,972
衣服・その他の繊維製品	5	172	59,320	一般機械器具	21	912	1,422,926
木材・木製品	8	79	54,177	電気機械器具	6	256	287,496
家具・装備品	3	16	10,640	電子部品・デバイス	1	37	×
印刷・同関連品	3	17	15,458	輸送機械器具	3	350	986,985
プラスチック製品	1	134	×	その他の製品	2	9	×

資料：工業統計調査　市町村表第 15 表　平成 19 年 12 月 31 日現在

■商業

◇産業小分類別統計表

（平成 19 年/単位：人，万円，㎡）

区分		事業所数	従業者数	就業者数	年間商品販売額	その他の収入額	売場面積
総数		540	2,687	2,796	6,262,738	161,567	45,859
卸売業	総数	82	596	622	3,152,379	51,700	-
	各種商品卸売業	-	-	-	-	-	-
	繊維・衣服等卸売業	4	13	13	46,653	-	-
	飲食料品卸売業	26	211	217	1,237,808	687	-
	建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	20	166	174	1,180,332	29,056	-
	機械器具卸売業	14	122	132	460,759	21,124	-
	その他の卸売業	18	84	86	226,827	833	-
小売業	総数	458	2,091	2,174	3,110,359	109,867	45,859
	各種商品小売業	1	1	2	×	-	×
	織物・衣服・身の回り品小売業	37	91	93	62,975	66	2,049
	飲食料品小売業	171	904	949	1,220,720	7,014	21,351
	自動車・自転車小売業	37	198	199	502,484	80,531	900
	家具・じゅう器・機械器具小売業	42	148	151	221,072	10,744	3,873
	その他の小売業	170	749	780	×	11,512	×

資料：商業統計調査　平成 19 年 6 月 1 日現在

◇従業者規模別統計表（卸売業＋小売業）

（平成 19 年/単位：人）

区分	事業所数	従業者数	就業者数
総数	540	2687	2796
2 人以下	275	425	450
3～4 人	105	360	381
5～9 人	98	641	663
10～19 人	42	558	588
20～29 人	11	267	268
30～49 人	6	239	249
50～99 人	3	197	197
100 人以上	-	-	-

資料：商業統計調査　市町村表第 2 表　平成 19 年 6 月 1 日現在

◇商業集積地別統計表

（平成 19 年/単位：事業所，人）

区分	事業所数	従業者数	就業者数
安来駅前商店街	9	37	39
本町商店街	17	67	67
大市場商店街	29	102	102
八幡町商店街	13	42	42
大塚町商店街	10	40	40
荒島町商店街	20	74	75
神田町商店街	24	226	227

資料：商業統計調査　市町村表第 3 表　平成 19 年 6 月 1 日現在

財政・市税

安来市は、歳入の多くを地方交付税（40.7%）や国庫支出金（5.9%）に依存している。

■財政（主要指標等）

（単位：百万円，%）

区分		平成 18 年度	平成 19 年度
財政力指数		0.386	0.400
標準財政規模		13,218	13,858
経常収支比率	合計	88.4	89.1
	人件費	31.3	28.3
	物件費	8.0	9.1
	公債費	29.1	28.9
	扶助費	4.7	5.1
	補助費	2.4	3.1
	維持補修費	0.1	0.1
	繰出金	12.8	14.5
公債費比率		22.8	21.5
実質公債費比率		25.1	24.6
起債制限比率		16.7	16.2
実質収支比率		3.3	3.5
積立金現在高	合計	3,088	3,134
	財調	906	910
	減債	191	192
	その他	1,991	2,032
地方債現在高		36,883	34,779
債務負担行為現在高		3,787	2,883
積立金現在高比率		23.4	22.6
地方債現在高比率		279.0	251.0
債務負担行為現在高比率		28.7	20.8

資料：平成 19 年度地方財政状況調査

■財政（決算収支）

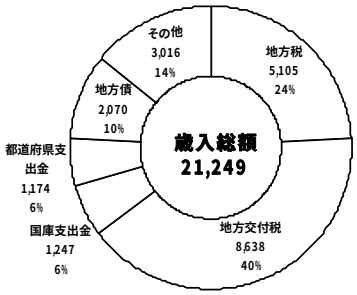
（単位：百万円）

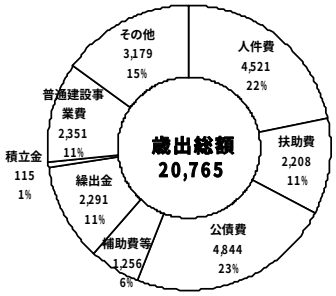
区分	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
歳入	24,806	23,336	21,249
歳出	24,365	22,898	20,765
形式収支	440	438	484
繰越財源	55	3	0
実質収支	386	435	484
単年度収支	19	50	49
積立金	2	2	4
繰上償還金	211	496	575
積立金取崩額	230	100	0
実質単年度収支	2	448	628

資料：平成 17,18,19 年度地方財政状況調査

■主な歳入・歳出

（単位：百万円，%）
資料：平成 19 年度地方財政状況調査





注）用語解説

・財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指標であり、標準的な行政活動を行うために必要な一般財源需要額に対する地方税等の税収の割合をいいます。この数値が高く、1に近く或いは1を超えるほど財源に余裕（自主的な財政力）があることを示しています。過去三ヵ年の平均値が用いられます。

・標準財政規模

一般財源の標準的大きさを示す指標で、「標準税収入額等＋普通地方交付税額＋臨時財政対策債発行可能額」で求められます。

・経常収支比率

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、毎年度経常的（継続性・安定性）に収入される一般財源が、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的（義務的）に支出される経費（経常的経費）にどの程度充当されているかという割合です。80%以下が健全とされており、90%以上が危険とされています。

・起債制限比率

地方公共団体の公債費による財政負担の度合いを判断する指標の1つです。公債費の償還のうち地方交付税により財源措置されるものを除いた場合、標準的な財政規模に対してどの程度の公債費負担を負っているのかを示す指標です。10%以下が健全とされており、15%以上が危険とされています。過去三ヵ年の平均値が用いられます。

・実質公債費比率

一般会計のほかに一部事務組合等が借り入れた地方債に充てたと認められる補助金又は負担金及び公債費に準ずる債務負担行為や、公営企業債の償還に充てたと認められる繰入金等を加え、より広く地方公共団体の公債費による財政負担の度合いを判断する指標です。18%を超えると公債費負担適正化計画を策定する団体となります。25%以上になった場合、一部の地方債発行が制限されます。過去三ヵ年の平均値が用いられます。

■普通会計決算額の推移

◇歳入

（単位：千円）

名　　称	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
市税	4,530,880	4,600,803	4,627,089	5,104,763
地方譲与税	438,678	531,768	706,946	372,721
利子割交付金	39,333	22,520	16,339	19,240
配当割交付金	3,898	5,961	10,014	11,577
株式等譲渡所得割交付金	4,360	24,379	7,993	8,434
地方消費税交付金	442,616	407,399	417,504	408,417
自動車取得税交付金	105,666	100,763	110,403	106,681
地方特例交付金	137,624	135,043	106,319	30,541
地方交付税	8,450,515	8,970,225	8,676,492	8,637,580
交通安全対策特別交付金	8,371	8,388	8,718	8,502
分担金及び負担金	269,723	243,017	269,030	167,277
使用料及び手数料	637,771	645,674	631,168	693,419
国庫支出金	1,953,603	2,295,407	1,971,262	1,246,996
県支出金	2,074,323	947,693	1,044,434	1,173,994
財産収入	63,555	24,941	76,987	101,454
寄附金	22,540	0	16,110	0
繰入金	1,204,995	457,220	428,877	89,456
繰越金	794,213	590,350	440,468	438,374
諸収入	886,315	577,712	575,685	560,332
市債	5,842,625	4,216,350	3,194,140	2,069,595
合計	27,911,604	24,805,613	23,335,978	21,249,353
自主財源	8,409,992	7,139,717	7,065,414	7,155,075
依存財源	19,501,612	17,665,896	16,270,564	14,094,278

資料：財政課

◇歳出

（単位：千円）

名　　称	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
人件費	5,402,901	5,179,674	5,037,330	4,521,133
物件費	2,882,749	2,611,745	2,410,318	2,631,099
維持補修費	152,137	140,626	96,038	112,561
扶助費	1,935,454	1,937,031	1,971,145	2,207,898
補助費等	1,558,246	1,351,163	1,468,994	1,256,392
公債費	4,056,543	4,495,158	4,779,470	4,843,752
積立金	863,835	112,100	127,824	115,295
投資及び出資金･貸付金	324,791	336,451	329,978	332,518
繰出金	2,226,377	2,288,982	2,274,281	2,290,773
小計	19,403,033	18,452,930	18,495,378	18,311,421
投資的経費	7,918,221	5,912,215	4,402,226	2,454,001
うち普通建設事業費	7,862,652	5,786,599	4,018,897	2,350,865
うち災害復旧事業費	55,569	125,616	383,329	103,136
合計	27,321,254	24,365,145	22,897,604	20,765,422

資料：財政課

■市税の内訳

（単位：千円）

区分		平成 19 年度 決算	平成 20 年度 決算
総額		5,104,763	5,468,861
市民税	個人分	1,684,309	1,704,191
	法人分	312,873	606,943
固定資産税		2,751,985	2,805,021
交付金納付金		36,694	33,683
軽自動車税		100,991	102,349
市たばこ税		214,696	213,266
入湯税		3,215	3,408

資料：財政課

■市有財産（土地・建物）の状況

（単位：㎡）

区分	平成 20 年度			
	土地	建物		
		延面積	木造	非木造
合計	6,833,542.36	277,636.05	39,730.33	237,905.72
市庁舎	18,181.78	10,087.65	0.00	10,087.65
消防施設	11,339.47	4,228.06	560.70	3,667.36
幼稚園 小中学校	410,424.56	94,524.63	6,474.63	88,050.00
市営住宅	143,869.77	38,670.91	9,241.91	29,429.00
公園	554,816.52	4,715.19	1,439.79	3,275.40
その他の 施設	947,115.32	117,126.86	18,110.30	99,016.56
山林	4,614,246.61	0.00	0.00	0.00
宅地・建物	14,633.83	8,282.75	3,903.00	4,379.75
その他	118,914.50	0.00	0.00	0.00

資料：管財課

選挙

安来市市議会議員選挙の投票率はおよそ 80%であり、
投票所では奥田原交流センター (96%) が最も高かった。

■選挙人名簿登録者

(単位:人)

区分		平成 19 年 (2007 年)	平成 20 年 (2008 年)	平成 21 年 (2009 年)
有権者数	総数	36,431	36,210	35,847
	男	17,183	17,046	16,853
	女	19,248	19,164	18,944
住民登録人口		44,256	43,884	43,420
人口対比		82.32	82.51	82.56

資料:選挙管理委員会　各年 3 月 2 日現在

◇選挙人名簿登録者の内訳

(平成 21 年/単位:人)

地域別		安来	広瀬	伯太
有権者数	総数	24,303	7,142	4,402
	男	11,453	3,320	2,080
	女	12,850	3,822	2,322
住民登録人口		29,709	8,443	5,268
人口対比		81.80	84.59	83.56

資料:選挙管理委員会　平成 21 年 3 月 2 日現在

■農業委員会選挙人名簿登録者

(単位:人)

区分		平成 19 年 (2007 年)	平成 20 年 (2008 年)	平成 21 年 (2009 年)
有権者数	総数	7,583	8,108	7,973
	男	4,040	4,445	4,373
	女	3,543	3,663	3,600

資料:選挙管理委員会　各年 3 月 31 日現在

◇農業委員会選挙人名簿登録者の内訳

(平成 21 年/単位:人)

地域別		安来	広瀬	伯太
有権者数	総数	4,635	2,031	1,307
	男	2,484	1,119	770
	女	2,151	912	537

資料:選挙管理委員会　平成 21 年 3 月 31 日現在

安来市市議会議員選挙の投票率は？

(単位:人, %)

投票所名	当日有権者数	投票者数	投票率
総数	35,376	28,290	79.97
安来地域計	24,031	18,986	79.01
十神小学校	2,375	1,798	75.71
安来市役所安来庁舎	1,583	1,221	77.13
社日小学校	1,730	1,343	77.63
城谷保育所	1,953	1,468	75.17
宇賀荘幼稚園	932	780	83.69
安来第二中学校	801	662	82.65
能義幼稚園	971	802	82.60
赤江保育所	2,024	1,689	83.45
切川保育所	1,329	994	74.79
荒島保育所	2,275	1,860	81.76
安来第三中学校	1,382	1108	80.17
飯梨小学校	1,466	1,190	81.17
大塚保育所	939	784	83.49
吉田交流センター	452	366	80.97
旧十神幼稚園	2,266	1,698	74.93
島田幼稚園	1,553	1,223	78.75
広瀬地域計	7,009	5,968	85.15
広瀬中央交流センター	1,317	1095	83.14
広瀬中央公園総合体育館	490	427	87.14
広瀬保険センター	1,459	1,212	83.07
比田交流センター	806	710	88.09
東比田交流センター横体育館	381	334	87.66
西谷生活改善センター	226	197	87.17
奥田原交流センター	221	212	95.93
山佐交流センター	408	357	87.50
下山佐交流センター	497	402	80.89
菅原交流センター	220	193	87.73
布部交流センター	705	588	83.4
宇波交流センター横体育館	279	241	86.38
伯太地域計	4,336	3,336	76.94
いきいきの郷はくた	1,301	989	76.02
母里交流センター	1,290	953	73.88
井尻老人憩いの家	557	467	83.84
横屋公民館	391	325	83.12
赤屋交流センター	257	190	73.93
小竹工作所	342	254	74.27
常盤公民館	198	158	79.8

資料:選挙管理委員会　平成 21 年 10 月 25 日執行

防災

いつ起きるか分からない災害等に備え、応急手当普及啓発活動に 2,298 人が参加した。

■避難所開設施設（安来地区）

地区	施設名	電話	想定収容人員	住所	備考
十神	安来中央交流センター	23-1721	400 人	安来町 896-1	浸水想定区域内
	安来市民会館	22-3308	300 人	安来町 1337-1	〃
	第一中学校	22-2250	1,500 人	飯島町 792	〃
	第一中学校体育館	-	300 人	飯島町 792	〃
	十神小学校	22-2010	450 人	安来町 843-3	〃
	十神小学校体育館	-	220 人	安来町 843-3	〃
	安来幼稚園	22-2129	30 人	安来町 853	〃
	安来保育所	22-2219	30 人	安来町 858-6	〃
	十神地区学習等供用施設	23-0755	70 人	安来町 1931-1	浸水･土砂災両区域内
	和鋼博物館	23-2500	800 人	安来町 1058-1	浸水想定区域内
	安来市立図書館	22-2574	200 人	安来町 1058-1	〃
	勤労青少年ホーム	22-4333	120 人	南十神町 33	〃
	安来球場	-	- 人	飯島町 744	屋外施設
	安来港公園	-	- 人	安来町 1830	〃
	みさき親水公園	-	- 人	亀島町 9-10	〃
社日	市民体育館	23-1923	1,300 人	安来町 1337-1	浸水想定区域内
	社日小学校	22-6345	450 人	宮内町 101	〃
	社日小学校体育館	-	160 人	宮内町 101	〃
	社日交流センター	23-2048	70 人	安来町 1281-1	〃
	鴨来荘	22-2877	300 人	月坂町 563	
	安来公園	-	- 人	安来町 1365	屋外施設
赤江	東部職業訓練センター	23-1750	100 人	今津町 532-2	浸水想定区域内
	赤江小学校	28-8009	300 人	赤江町 1843	
	赤江小学校体育館	-	200 人	赤江町 1843	
	赤江保育所	28-8634	30 人	赤江町 1742	
	赤江交流センター	28-8982	70 人	上坂田町 574	
	なかうみ農村公園	-	- 人	東赤江町	屋外施設
	西部球場	-	- 人	上坂田町 280-2.	〃
荒島	荒島小学校	28-6186	400 人	荒島町 2728	
	荒島小学校体育館	-	200 人	荒島町 2728	
	第三中学校	28-8534	750 人	西赤江町 395	
	第三中学校体育館	-	300 人	西赤江町 395	
	荒島交流センター	28-6783	75 人	荒島町 3353-5	浸水･土砂災両区域内
	日白公会堂	28-6702	10 人	日白町	
	久白公会堂	-	10 人	久白町	土砂災害警戒区域内
	仲仙寺公園	-	- 人	西赤江町	屋外施設
	王陵の丘 造山公園	-	- 人	荒島町	〃
	〃 宮山公園	-	- 人	西赤江町	〃
	〃 塩津山公園	-	- 人	久白町	〃
	うさぎ山児童公園	-	- 人	西荒島町 121-2	〃
飯梨	飯梨小学校	28-6417	250 人	植田町 398	
	飯梨小学校体育館	-	150 人	植田町 398	
	飯梨保育所	28-6447	20 人	飯梨町 447-2	

資料：市内避難所設置施設 http://www.city.yasugi.shimane.jp/p/1/14/4/

地区	施設名	電話	想定収容人員	住所	備考
飯梨	飯梨交流センター	28-8346	80 人	飯梨町 445-1	
	安来節演芸館	28-9500	400 人	古川町 534	浸水想定区域内
	夢ランドしらさぎ	28-6300	700 人	古川町 835	
	ふれあいプラザ	28-6477	300 人	古川町 848	
能義	情報科学高等学校(併体育館)	23-2700	350 人	能義町 310	浸水想定区域内
	能義小学校	22-2854	220 人	飯生町 265	〃
	能義小学校体育館	-	150 人	飯生町 265	〃
	能義幼稚園	22-2244	10 人	飯生町 566-8	
	能義交流センター	23-0764	70 人	飯生町 566-3	
大塚 吉田	南小学校	22-2807	400 人	清瀬町 230	浸水想定区域内
	南体育館	-	200 人	清瀬町 230	〃
	下町集会所	-	10 人	大塚町	
	大塚保育所	27-0051	20 人	大塚町 399-1	
	大塚交流センター	27-0328	70 人	大塚町 400-1	
	大塚ふれあいセンター	27-0860	30 人	大塚町 350	
	殿川内公会堂	-	20 人	大塚町	
	吉田交流センター	27-0325	70 人	上吉田町 618-1	
宇賀荘	安来高等学校(併体育館)	22-2840	350 人	佐久保町 115	浸水想定区域内
	第二中学校	22-2859	600 人	吉岡町 7	〃
	第二中学校体育館	-	110 人	吉岡町 7	〃
	宇賀荘小学校	22-2364	230 人	清井町 300	
	宇賀荘小学校体育館	-	200 人	清井町 300	
	宇賀荘幼稚園	22-2118	10 人	宇賀荘町 323-1	
	宇賀荘交流センター	23-0721	30 人	宇賀荘町 98-1	
	市中公会堂	-	10 人	宇賀荘町	
	安来運動公園	22-5911	- 人	吉岡町 450	屋外施設
島田	島田小学校	22-2531	310 人	穂日島町 485	
	島田小学校体育館	-	177 人	穂日島町 485	
	島田幼稚園	22-5325	10 人	穂日島町 485	
	島田交流センター	23-2891	70 人	穂日島町 485	
	吉佐公会堂	22-2434	10 人	吉佐町	
	門生公会堂	22-3690	10 人	門生町	
	汐彩公園	-	- 人	汐手が丘 238 番地	屋外施設

資料：市内避難所設置施設 http://www.city.yasugi.shimane.jp/p/1/14/4/

■避難所開設施設（広瀬地区）

地区	施設名	電話	想定収容人員	住所	備考
広瀬	広瀬健康福祉センター	32-2223	210 人	広瀬町広瀬 1930-1	
	広瀬中央交流センター	32-4138	420 人	広瀬町広瀬 811	
	町民体育館	32-2678	170 人	広瀬町広瀬 2548	
	町民会館	32-2214	60 人	広瀬町広瀬 772-11	
	広瀬小学校	32-2388	300 人	広瀬町広瀬 751	
	広瀬小学校体育館	-	110 人	広瀬町広瀬 751	
	広瀬学園総合福祉専門学校	32-4196	150 人	広瀬町広瀬 753-15	
	つどいの里ひろせ	32-9006	500 人	広瀬町広瀬 1911-1	
	広瀬町総合体育館	32-2678	750 人	広瀬町広瀬 307	
	広瀬社会福祉センター	32-3305	70 人	広瀬町広瀬 754	

資料：市内避難所設置施設 http://www.city.yasugi.shimane.jp/p/1/14/4/

地区	施設名	電話	想定収容人員	住所	備考
広瀬	旧広瀬中学校	-	530 人	広瀬町広瀬 117	
	旧広瀬中学校体育館	-	110 人	広瀬町広瀬 117	
	広瀬保育所	32-3807	30 人	広瀬町広瀬 631-1	
	富田山荘	32-2271	200 人	広瀬町富田 2656	
	広瀬中学校（新）	32-2389	535 人	広瀬町富田 1470	
	広瀬中学校（新）体育館	-	115 人	広瀬町富田 1470	
	川中島公園	-	― 人	広瀬町広瀬 1952-4	屋外施設
	広瀬中央公園	32-2678	― 人	広瀬町広瀬 307	〃
下山佐	下山佐交流センター	32-3840	70 人	広瀬町下山佐 498	土砂災害警戒区域内
	すぱーく広瀬	32-3305	― 人	広瀬町下山佐 334-1	屋外施設
菅原	菅原交流センター	32-3298	50 人	広瀬町菅原 604	土砂災害警戒区域内
	菅原農産物加工施設	-	10 人	広瀬町菅原 604	〃
比田	比田小学校	34-0014	400 人	広瀬町西比田 1659	〃
	比田小学校体育館	-	110 人	広瀬町西比田 1659	〃
	旧比田小学校	-	170 人	広瀬町西比田 1636-3	
	旧比田小学校体育館	-	140 人	広瀬町西比田 1636-3	
	比田交流センター	34-0001	100 人	広瀬町西比田 1708-4	
	勤労者体育センター	34-0623	50 人	広瀬町西比田 1441-2	
東比田	東比田交流センター	34-0211	90 人	広瀬町東比田 950-11	土砂災害警戒区域内
	旧東比田小体育館	-	80 人	広瀬町東比田 950-11	〃
	湯田山荘	34-0240	250 人	広瀬町東比田 1373	
	東比田運動場	37-1855	― 人	広瀬町東比田 2197-3	
布部	布部交流センター	36-0001	60 人	広瀬町布部 345-40	
	布部小学校	36-0200	170 人	広瀬町布部 1152	土砂災害警戒区域内
	布部小学校体育館	-	90 人	広瀬町布部 1152	〃
	旧布部中学校体育館	-	100 人	広瀬町布部 288	〃
	布部保育所	36-0227	20 人	広瀬町布部 233-3	浸水想定区域内
西谷	西谷生活改善センター	36-0242	40 人	広瀬町西谷 403	
	西谷交流センター	36-0376	110 人	広瀬町西谷 376-6	
	旧西谷小体育館	-	80 人	広瀬町西谷 376-6	
宇波	宇波交流センター	36-0852	100 人	広瀬町宇波 48	土砂災害警戒区域内
	旧宇波小体育館	-	80 人	広瀬町宇波 48	〃
山佐	山佐小学校	35-0017	330 人	広瀬町上山佐 608-2	
	山佐小学校体育館	-	100 人	広瀬町上山佐 608-2	
	山佐交流センター	35-0129	80 人	広瀬町上山佐 654-5	土砂災害警戒区域内
	旧山佐小学校	-	120 人	広瀬町上山佐	〃
奥田原	旧奥田原小学校	-	100 人	広瀬町奥田原 479	〃
	旧奥田原小学校体育館	-	80 人	広瀬町奥田原 479	〃
	奥田原交流センター	35-0047	30 人	広瀬町奥田原 602-1	

資料：市内避難所設置施設 http://www.city.yasugi.shimane.jp/p/1/14/4/

■避難所開設施設（伯太地区）

地区	施設名	電話	想定収容人員	住所	備考
安田	いきいきの郷はくた	37-1432	500 人	伯太町安田 1687	
	伯寿の郷	37-1600	700 人	伯太町安田 1705	
	安田小学校	37-0058	120 人	伯太町安田 1213-1	土砂災害警戒区域内
	安田小学校体育館	-	120 人	伯太町安田 1213-1	〃
	安田交流センター	37-0835	80 人	伯太町安田中 158	浸水想定区域内
	安田老人福祉センター	37-0831	60 人	伯太町安田中 159	〃
母里	わかさ会館	37-1558	220 人	伯太町東母里 572-1	〃
	伯太町青年研修センター	37-1192	80 人	伯太町西母里 239-1	〃
	伯太中学校	37-1007	700 人	伯太町西母里 940-6	〃
	伯太中学校体育館	-	160 人	伯太町西母里 940-6	〃
	伯太町民体育館	37-1262	460 人	伯太町西母里 231-5	〃
	母里小学校	37-1099	140 人	伯太町西母里 1040-1	〃
	母里小学校体育館	-	120 人	伯太町西母里 1040-1	〃
	はくた文化学習館	37-0050	300 人	伯太町母里 28	〃
井尻	井尻交流センター	37-0836	70 人	伯太町井尻 77	〃
	井尻小学校	37-1032	240 人	伯太町井尻 859-2	土砂災害警戒区域内
	井尻小学校体育館	-	120 人	伯太町井尻 859-2	〃
	伯太運動公園	37-1001	－人	伯太町日次 537	屋外施設
赤屋	赤屋交流センター	38-0145	60 人	伯太町赤屋 118-2	
	赤屋小学校	38-0004	140 人	伯太町赤屋 123	
	赤屋小学校体育館	-	80 人	伯太町赤屋 123	
	赤屋保育所	38-0210	10 人	伯太町赤屋 122-1	

資料：市内避難所設置施設 http://www.city.yasugi.shimane.jp/p/1/14/4/

■住民に対する応急手当普及啓発活動の状況

（単位：人，回）

区分	平成 18 年（2006 年）		平成 19 年（2007 年）		平成 20 年（2008 年）	
	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数
総数	2,633	47	3,068	84	2,298	75
普通救命講習	284	13	368	17	720	27
その他の講習	2,349	34	2,700	67	1,578	48

資料：安来市消防本部 消防年報 各年 1 月～12 月までの合計
注）普通救命講習とは主として心肺蘇生法について学ぶ講習のことをいいます。

自治会・町内会

地域活動を通じて、住民相互の交流や
親睦を図り住みよい暮らしを築きましょう。

■安来地域

区域	地区	自治会
安来区域	社日地区	宮内町、旭ケ丘、東社日、社日町、八幡町、神田町、西御幸、東御幸、日立町、加茂町、城谷町、南城谷町、東加茂町第一、東加茂町第二、長谷津町、臼井町及び桜が丘
	十神地区	大橋東、明治町、山中町、大市場、中市場、西小路第一、西小路第二、東小路、姫崎町、新町、西灘町、中町、港町、本町、朝日町、錦町、川尻町、錦ケ丘、前飯島町、後飯島町第一、咲楽町、後飯島町第二、新飯島町、藤木町、日立寮、日の出町、今村町、緑ケ丘、ウィズ緑ヶ丘、東十神町第一、東十神町第二、西十神町、新十神町、南十神町、桂が丘及び南飯島
赤江区域	赤江地区	才下町、宮中川町、豊島町、越前町、出来須町、論田町、住吉町、中島町、上坂田町、西中津町、東中津町、東切川町、内代町、みどり団地、天神原町、下の原町、印部町、山根越町、竹鼻町、井越町、上今津町、江畑今津町、灘今津町、下坂田町、新坂田町、別石町、福井町、宮須町第一、宮須町第二及び福井住宅団地
荒島区域	荒島地区	日白町、西荒島町、大西町、西中町、東中町、新田町、東町、大東町、姥祖父町、西天神町、東天神町、南天神町、西旭町、駅前、旭本町、東旭町、猪子塚町、青葉町、川原町、上荒島町、松崎町、やなぎケ丘、御崎町、久白町、山根町、南新町、山根町第二、西赤江町、神塚町第一、神塚町第二、神塚町第三及び安養寺団地
飯梨区域	飯梨地区	古川町、植田町、神庭町、岩舟町、飯梨町、東飯梨町、西松井町、田頼町及び津田平町
能義区域	能義地区	矢田町、実松町、能義町、飯生町、利弘町、沢町、赤崎町、月坂町及び月坂町第二
大塚区域	大塚地区	鳥木町、茶屋町、松実町、殿川内町、丸山町、東町、国服町、本町、旭町、秋葉町、中ノ町、下町、末広町及び大栄町
	吉田地区	横手、正福寺、影平、垣飯場、鳴滝、中谷、細井、永源寺、別所及び大光寺
宇賀荘区域	宇賀荘地区	吉岡町、吉岡町第二、野方町、折坂町、柿谷町、清瀬町、清井町、新御堂、真米、市中、九重町、早田町、早田町第二、清水町及び佐久保町
島田区域	島田地区	吉佐町、門生町、島田町、須崎町、細井町、黒鳥町、和田町、わらび谷団地、和田団地(市)、和田団地(県)、高広、警察官舎、茜ケ丘及び汐手が丘

資料：安来市自治会長設置規則　平成 21 年 2 月 9 日現在

■広瀬地域

区域	地区	自治会
広瀬区域	広瀬地区	祖父谷、祖父谷丁、殿町、中ノ丁、目谷、八幡町、新町、上町、志多町、本町、魚町、鍛冶町、新市町、旭町 1、旭町 2、栄町 1、栄町 2、上石原、下石原、新宮、塩谷、牧谷、川平及び下田原
	下山佐地区	大谷紙屋谷、板橋、須釜、畑、常願寺、本郷上口、蕪谷、本郷下口、福頼、福頼団地及び須谷
	菅原地区	菅原 1 区、菅原 2 区及び柿根
布部区域	布部地区	横手、後ケ市、飯田、下布部、金原、上り原、根尾川原、本町、中曽根、西の谷、川原上、川原前、樋の廻、平野、乙見及び川路
	宇波地区	水田原、宮下、宮上、滝奥、滝下の上及び滝下の下
	西谷地区	西谷第一、西谷本郷、西谷中谷、木呂畑及び西谷東部
比田区域	比田地区	茅原、黒田、追神、市原、町、殿之奥、古市、庵之上、梶、福留及び駒場
	東比田地区	滝谷、虫木、永田、田中、松本、道城及び前谷
山佐区域	山佐地区	上口、高木、待合、森口、宮内、中口及び下明
	奥田原地区	山口、廻谷、中ノ輪、下ノ輪及び新田

資料：安来市自治会長設置規則　平成 21 年 2 月 9 日現在

■伯太地域

区域	地区	自治会
赤屋区域	赤屋地区	赤屋下、赤屋上、月坂、見土路、部張、本郷下、本郷中、本郷上、新田谷、奥之谷、久之谷、矢原下、矢原上、久根、永江、共和、仲村、用土、東組、中組、大谷、上ケ保、下組、才ケ原、原田、坂原、宇丹波、草野下、草野谷、六呂坂及び水木原
井尻区域	井尻地区	下町下、下町上、中町、朝日町、後田大平、上町、和子、多田荒堀、与一畑、高江、須山、福冨、三坂、天神、寸次、日次、北之前、清水掻、横屋、与市、久才、日山、矢白ケ市東、矢白ケ市西及び大郷
母里区域	母里地区	守合、大木、上古市、下古市、才ケ峠、豊岡、豊原、原代、井戸、本町下 A、本町下 B、本町中、本町上、新町上、新町中、新町下 A、新町下 B、新町下 C、下町、旭町、卯月、招、御笠、西市、城山、教員住宅、新下古市、招団地、御崎団地及びわかさ
安田区域	安田地区	粕原、峠下、関、南側、宮内、未明、中の上、中の中、中の下、横山、土手、清瀬、長田、的場谷、大熊谷、北谷、政、石堂前団地、日の出団地、土井団地、宮中団地、曽根崎団地、日の出東、朝日が丘団地及び安田団地

資料：安来市自治会長設置規則　平成 21 年 2 月 9 日現在

その他

統計法が全面的に改正されました。
（平成19年5月23日公布、全面施行は平成21年4月1日からです。）

■安来市で行う統計調査

統計調査名	調査の目的	調査の対象	周期	実施予定時期	調査の主管
住宅･土地統計調査	住宅及び世帯の居住状況の実態を把握し、また、土地に関する利用状況を調査して、全国及び地域別の住宅及び土地に関する基礎資料を得る。	総務大臣が指定する住宅等並びにそこに居住する世帯	5年	平成25年10月	総務省
漁業センサス	水産業の実態を明らかにして、行政の基礎資料を得る。	漁業者や水産関係者	5年	平成25年11月	農林水産省
工業統計調査	工業活動の実態を明らかにして、行政の基礎資料を得る。	製造業に属する事業所全数	毎年	平成21年12月	経済産業省
全国消費実態調査	家計の収支及び住宅･宅地、貯蓄･負債、耐久消費財等の家計の資産を総合的に調査し、我が国の世帯の消費、所得、資産の水準、構造及び分布を明らかにする。	総務大臣が指定する世帯員2人以上の一般世帯及び単身世帯	5年	平成21年9～11月	総務省
経済センサス	事業所及び企業の活動の状態を明らかにし、産業や従業者規模等の基本的構造を明らかにする。	事業所及び企業全数	未定	平成21年7月	総務省 経済産業省
農林業センサス	農林業における生産･就業等に関する基礎構造の現状と動向を明らかにし、農林業政策の推進に必要な基礎資料を整備する。	農家及び農家以外の農業事業体並びに林家及び林家以外の林業事業体の全数	5年	平成22年 2月	農林水産省
国勢調査	国内の人口状況を把握し、各種行政施策その他の基礎資料とする。	居住する世帯全数	5年	平成22年10月	総務省
就業構造基本調査	国民の就業実態の基本的な構造を明らかにする。	総務大臣が指定する世帯とその世帯に常住する15歳以上の者	5年	平成24年10月	総務省
全国物価統計調査	消費生活において支出の対象となる商品の小売物価等の実態を明らかにする。	総務大臣が指定する事業所	5年	平成24年11月	総務省

島根県統計情報　http://www.pref.shimane.lg.jp/toukei/tyousaitirann.html

■安来市役所庁舎案内

安来庁舎　〒692-8686　安来市安来町878番地2　☎0854-23-3000
広瀬庁舎　〒692-0404　安来市広瀬町広瀬703番地　☎0854-23-3200
伯太庁舎　〒692-0207　安来市伯太町東母里580番地　☎0854-23-3300